

令和元年度第3回

新宿区

区政モニターアンケート報告書

- テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて
テーマ2 健康づくりについて
テーマ3 苦情処理機関「区民の声委員会」について



新宿区総合政策部区政情報課広聴係

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 集計・分析結果を読む際の注意点.....	1
4 回答者の属性.....	2
II 調査の結果.....	5
テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて.....	5
(1) 「女性の健康支援センター」の認知状況.....	5
(2) 女性の健康づくりサポーターへの関心.....	8
(3) ピンクリボン月間に実施している取組みの認知.....	11
テーマ2 健康づくりについて.....	13
(1) 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況.....	13
(2) 1日に食べる野菜料理の量.....	15
(3) 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで.....	17
(4) 運動の頻度.....	19
(5) 運動の期間.....	20
(6) 日常生活で体を動かす時間.....	23
(7) ロコモティブシンドロームの認知状況.....	26
(8) 現在の健康状態.....	28
(9) 飲酒頻度.....	31
(10) 1日あたりの飲酒量.....	32
(11) 喫煙状況.....	35
(12) 睡眠での十分な休養.....	37
(13) こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について.....	39
(14) かかりつけ歯科医の有無.....	41
(15) 5つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること.....	43
(16) がん検診の受診状況.....	45
(17) 区が実施するがん検診の受診状況.....	46
(18) 健康診査の受診状況.....	47
(19) 健康診査を受けていない理由.....	48
テーマ3 苦情処理機関「区民の声委員会」について.....	49
(1) 「新宿区区民の声委員会」の認知度.....	49
(2) 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無.....	50
III 資料（調査票）.....	51

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、アンケート区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

2 調査の概要

《第3回》	調査対象	アンケート区政モニター 987名
	調査内容	テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて
		テーマ2 健康づくりについて
		テーマ3 苦情処理機関「区民の声委員会」について
	調査期間	令和元年11月8日～令和元年11月22日
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	回答数	887票（回収率 89.9%）

3 集計・分析結果を読む際の注意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 「MT」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
- 回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

（例）		（表現）
80.1～80.9%	⇒	約8割
81.0～82.9%	⇒	8割強
83.0～84.9%	⇒	8割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒	8割台半ば
86.0～87.9%	⇒	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒	9割近く
89.0～89.9%	⇒	9割弱

I 調査の概要

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期 : 40歳未満の独身者

家族形成期 : 40歳未満の子どものない夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期 : 一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期 : 一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期 : 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人

(生計を別にした子どもがいる人を含む)

高齢期 : 65歳以上の人(生計を別にした子どもがいる人を含む)

その他 : 40歳から64歳の独身者、40歳から64歳の子どものない夫婦など

4 回答者の属性

(1) 居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 四谷	125	14.1	6 戸塚	94	10.6
2 筆筈町	117	13.2	7 落合第一	92	10.4
3 榎町	85	9.6	8 落合第二	91	10.3
4 若松町	96	10.8	9 柏木	57	6.4
5 大久保	92	10.4	10 角筈・区役所	38	4.3
			計	887	100.0%

(2) 性別

選択肢	回答数	割合(%)
1 男性	385	43.4
2 女性	502	56.6
計	887	100.0%

(3) 年齢

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 18～19歳	6	0.7	9 55～59歳	85	9.6
2 20～24歳	15	1.7	10 60～64歳	57	6.4
3 25～29歳	46	5.2	11 65～69歳	55	6.2
4 30～34歳	69	7.8	12 70～74歳	70	7.9
5 35～39歳	82	9.2	13 75～79歳	55	6.2
6 40～44歳	109	12.3	14 80歳以上	55	6.2
7 45～49歳	83	9.4	無回答	13	1.5
8 50～54歳	87	9.8	計	887	100.0%

(4) 職業

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 会社員・団体職員	333	37.5	5 学生	25	2.8
2 会社役員・団体役員	46	5.2	6 専業主婦・主夫	121	13.6
3 パート・アルバイト、 非常勤、嘱託、派遣など	139	15.7	7 無職	119	13.4
4 自営業、自由業	85	9.6	8 その他	5	0.6
			無回答	14	1.6
			計	887	100.0%

(5) 職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合 (%)
1 新宿区内	227	36.1
2 新宿区外	396	63.1
無回答	5	0.8
計	628	100.0%

(6) 同居している家族等

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 子	363	40.9	6 兄弟姉妹	34	3.8
2 妻または夫	540	60.9	7 その他	17	1.9
3 親	103	11.6	8 ひとり暮らし	184	20.7
4 祖父母	6	0.7	無回答	9	1.0
5 孫	18	2.0	回答総計	1,274	143.6%
			計	887	100.0%

(7) 同居者数

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1人	292	42.1	4 4人	34	4.9
2 2人	220	31.7	5 5人以上	22	3.2
3 3人	124	17.9	無回答	2	0.3
			計	694	100.0%

(8) 同居している子

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 一番上の子が小学校入学前	96	26.4	4 一番上の子が学校を卒業	110	30.3
2 一番上の子が小・中学生	83	22.9	無回答	10	2.8
3 一番上の子が高・大学生	64	17.6	計	363	100.0%

(9) 新宿区での居住年数

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1年未満	1	0.1	5 10年以上20年未満	174	19.6
2 1年以上3年未満	68	7.7	6 20年以上30年未満	113	12.7
3 3年以上5年未満	108	12.2	7 30年以上	275	31.0
4 5年以上10年未満	139	15.7	無回答	9	1.0
			計	887	100.0%

I 調査の概要

(10) 住居形態

選択肢		回答数	割合 (%)	選択肢		回答数	割合 (%)
一戸建て	1 持ち家の一戸建て	231	26.0	集合住宅	5 分譲マンション・アパート	328	37.0
	2 賃貸の一戸建て	24	2.7		6 賃貸マンション・アパート	215	24.2
	3 社宅・公務員官舎の一戸建て	5	0.6		7 賃貸のUR都市機構（旧公団）・公社のマンション・アパート	8	0.9
	4 その他	3	0.3		8 賃貸の都営・区営住宅	38	4.3
					9 社宅・公務員官舎	27	3.0
			10 その他		3	0.3	
			無回答		5	0.6	
			計		887	100.0%	

(11) ライフステージ

選択肢			選択肢		
回答数		割合 (%)	回答数		割合 (%)
1 独身期	55	6.2	5 家族成熟期	45	5.1
2 家族形成期	121	13.6	6 高齢期	235	26.5
3 家族成長前期	82	9.2	7 その他	285	32.1
4 家族成長後期	64	7.2	計	887	100.0%

Ⅱ 調査の結果

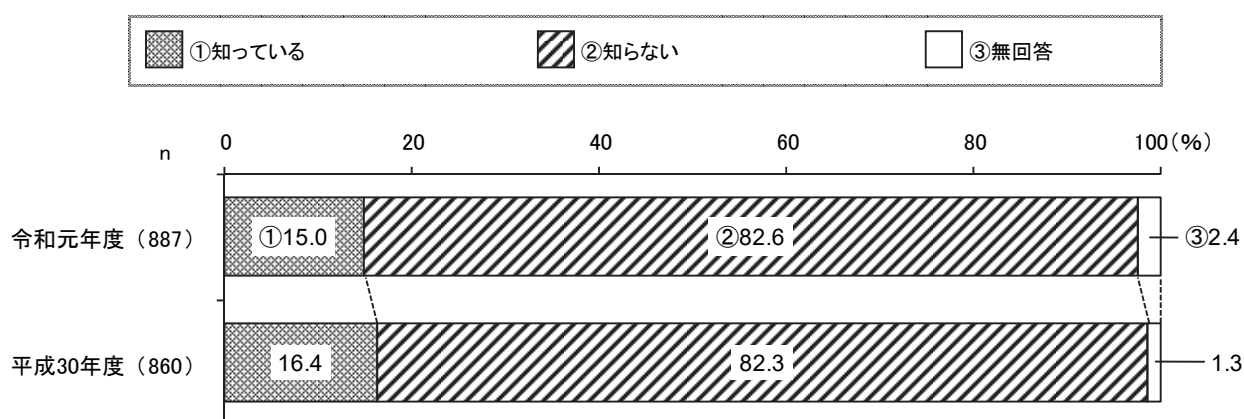
テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて

(1) 「女性の健康支援センター」の認知状況

◎「知っている」が1割台半ば

問1 あなたは、四谷保健センター内にある「女性の健康支援センター」を知っていますか。 (○は1つ)		(n=887)
1 知っている	15.0%	
2 知らない	82.6	
無回答	2.4	

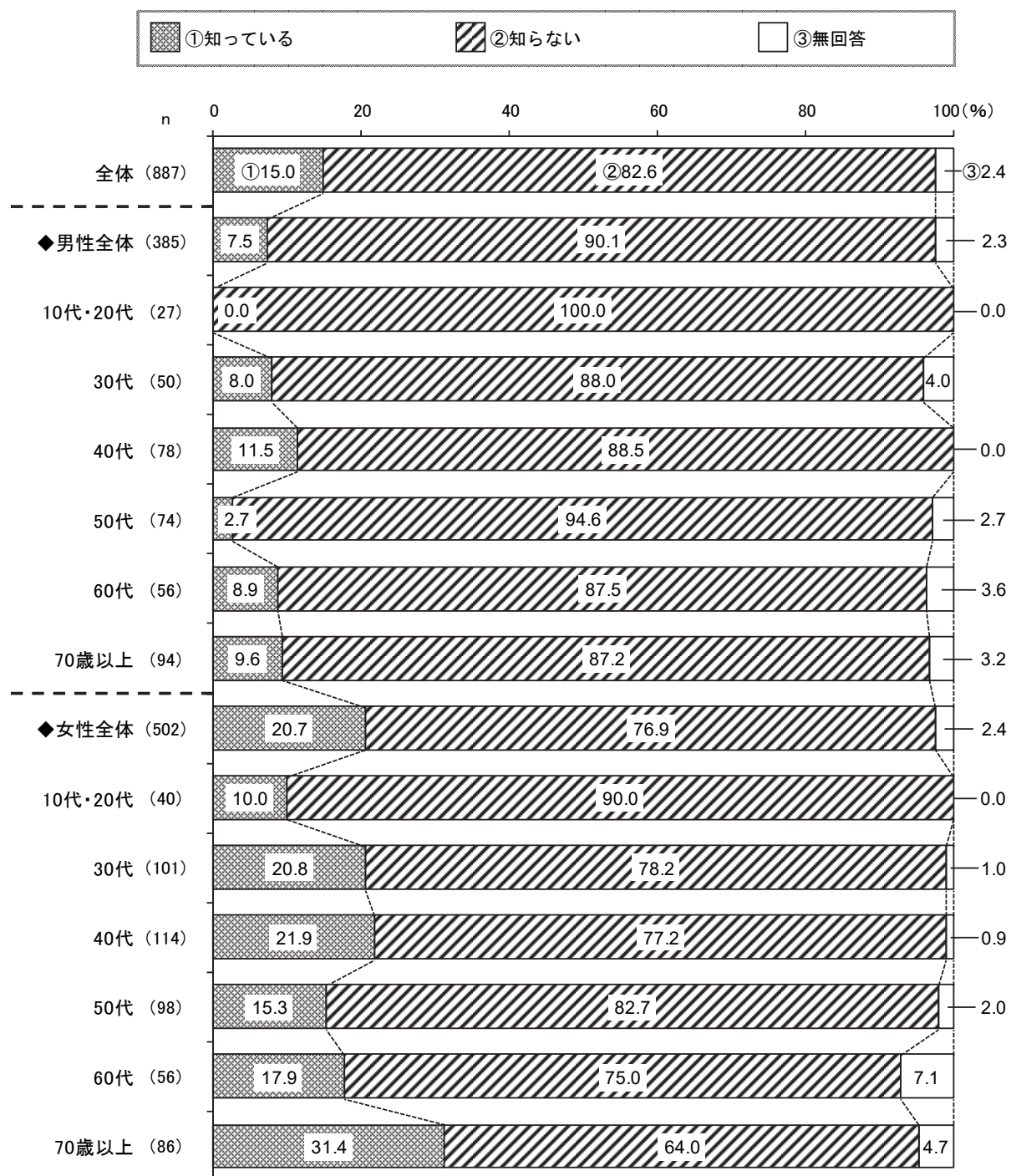
図1-1-1 「女性の健康支援センター」の認知状況
(経年推移)



「女性の健康支援センター」の認知状況について、「知っている」(15.0%)が1割台半ば、「知らない」(82.6%)が8割強となっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、割合に大きな変化はみられない。(図1-1-1)

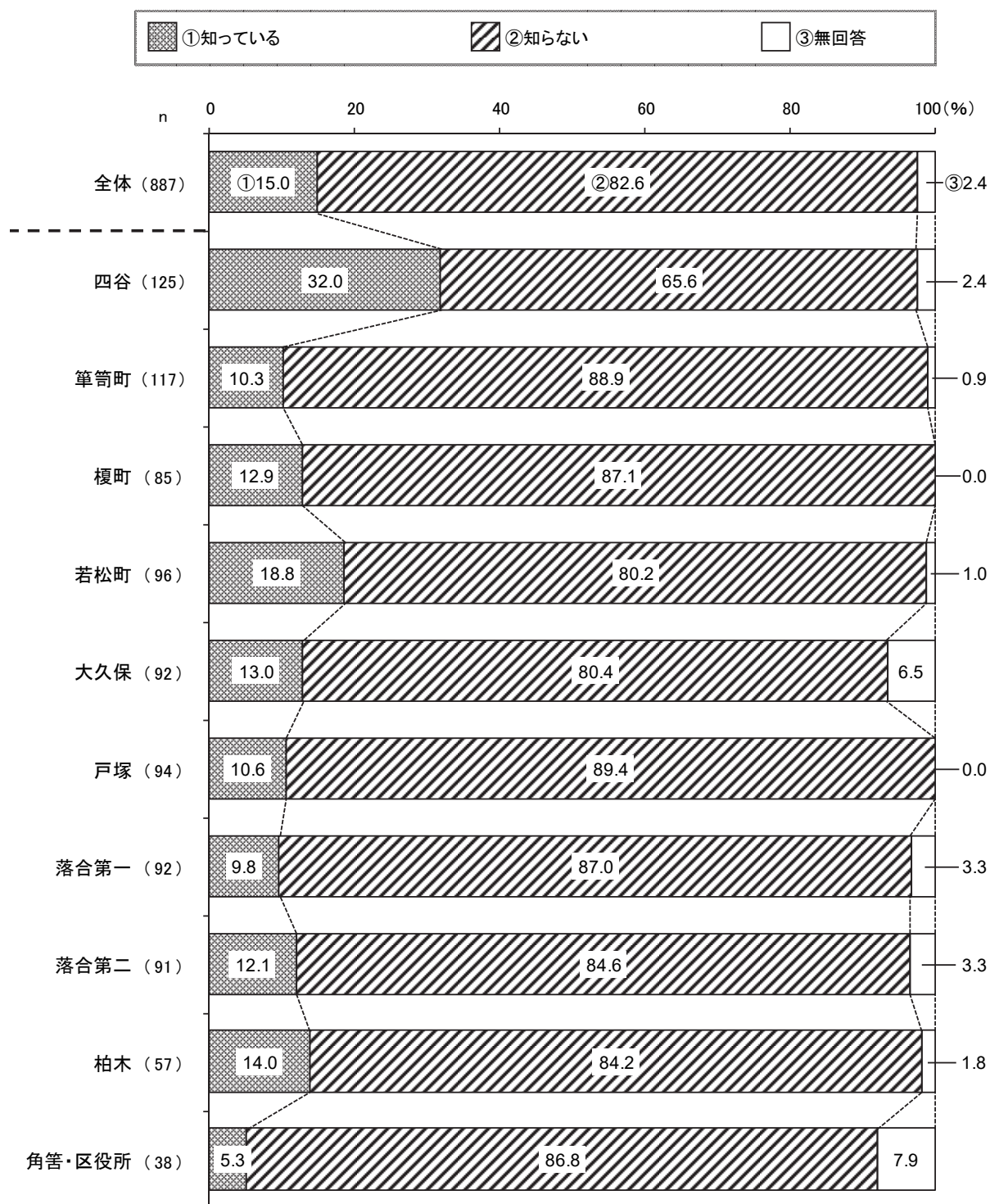
図 1－1－2 「女性の健康支援センター」の認知状況
（性別／性・年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（20.7%）が約2割と、男性（7.5%）を13.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は女性の70歳以上（31.4%）が3割強と、全体（15.0%）を16.4ポイント上回っている。一方、「知らない」は男性の10代・20代（100.0%）が10割と、全体（82.6%）を17.4ポイント上回っている。（図1－1－2）

図 1-1-3 「女性の健康支援センター」の認知状況
(居住地域別)



居住地域別にみると、「知っている」は四谷（32.0%）が3割強で最も高く、全体（15.0%）を17.0ポイント上回っている。一方、落合第一（9.8%）および角筈・区役所（5.3%）が1割未満と低くなっている。（図 1-1-3）

（２）女性の健康づくりサポーターへの関心

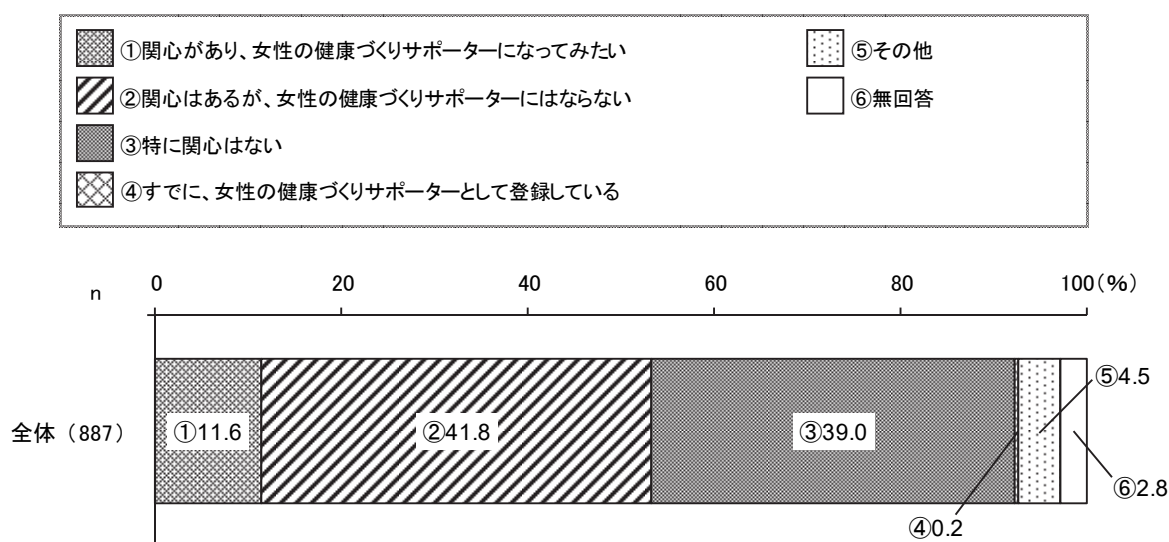
◎「関心があり、女性の健康づくりサポーターになってみたい」が１割強

問２ あなたは、女性の健康づくりサポーターについてどのように思いますか。（○は１つ）

(n=887)

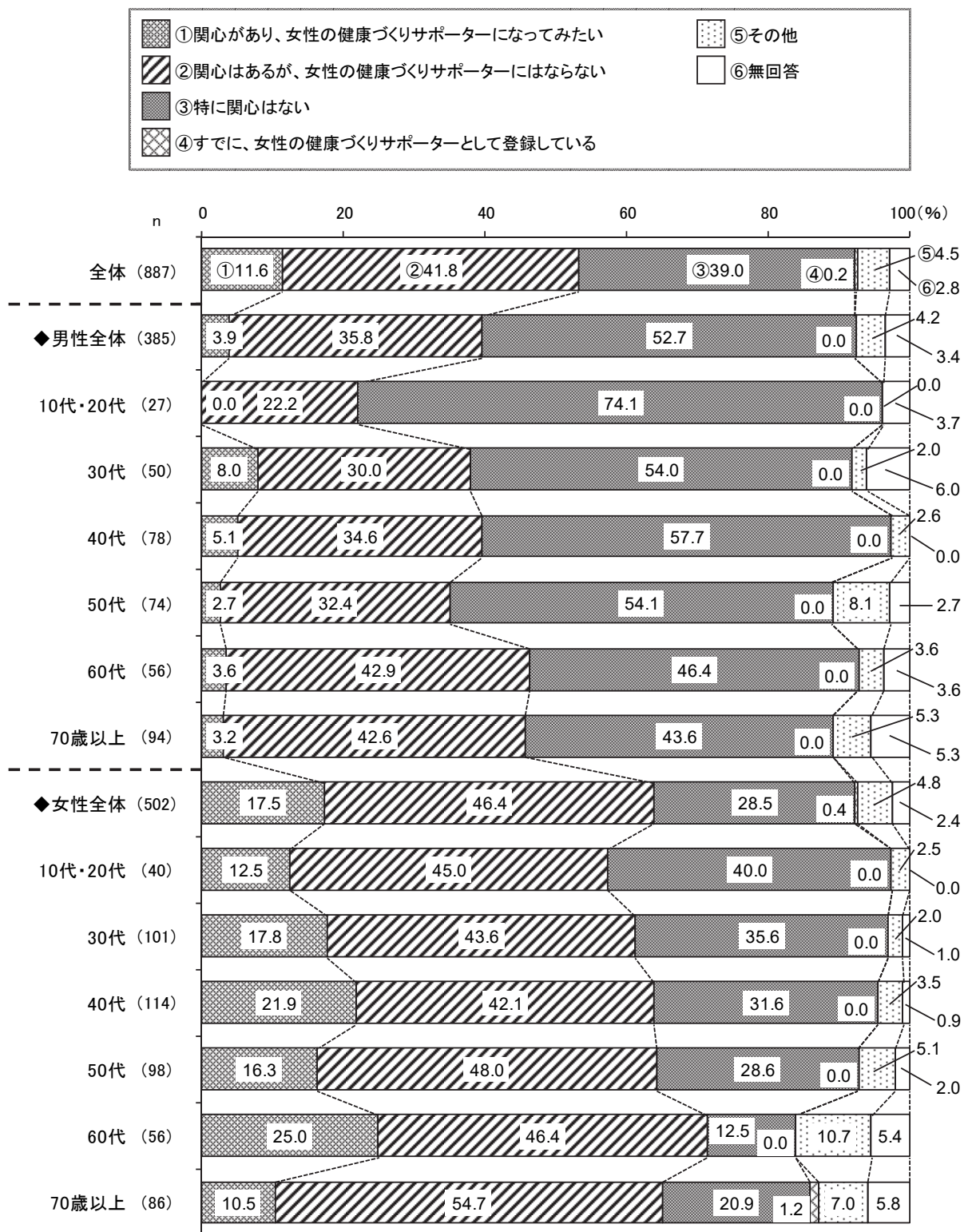
１ 関心があり、女性の健康づくりサポーターになってみたい	11.6%
２ 関心はあるが、女性の健康づくりサポーターにはならない	41.8
３ 特に関心はない	39.0
４ すでに、女性の健康づくりサポーターとして登録している	0.2
５ その他	4.5
無回答	2.8

図１－２－１ 女性の健康づくりサポーターへの関心



女性の健康づくりサポーターへの関心について、「関心があり、女性の健康づくりサポーターになってみたい」（11.6%）が１割強となっている。一方、「関心はあるが、女性の健康づくりサポーターにはならない」（41.8%）が４割強、「特に関心はない」（39.0%）が４割弱となっている。（図１－２－１）

図1-2-2 女性の健康づくりサポーターへの関心
(性別・性／年代別)



性別でみると、「関心があり、女性の健康づくりサポーターになってみたい」は女性（17.5%）が1割台半ばを超え、男性（3.9%）を13.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「関心があり、女性の健康づくりサポーターになってみたい」は女性の60代（25.0%）が2割台半ばと、全体（11.6%）を13.4ポイント上回っている。「特に関心はな

Ⅱ 調査の結果（テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて）

い」は男性の10代・20代（74.1%）が7割台半ば近くと、全体（39.0%）を35.1ポイント上回っている。（図1－2－2）

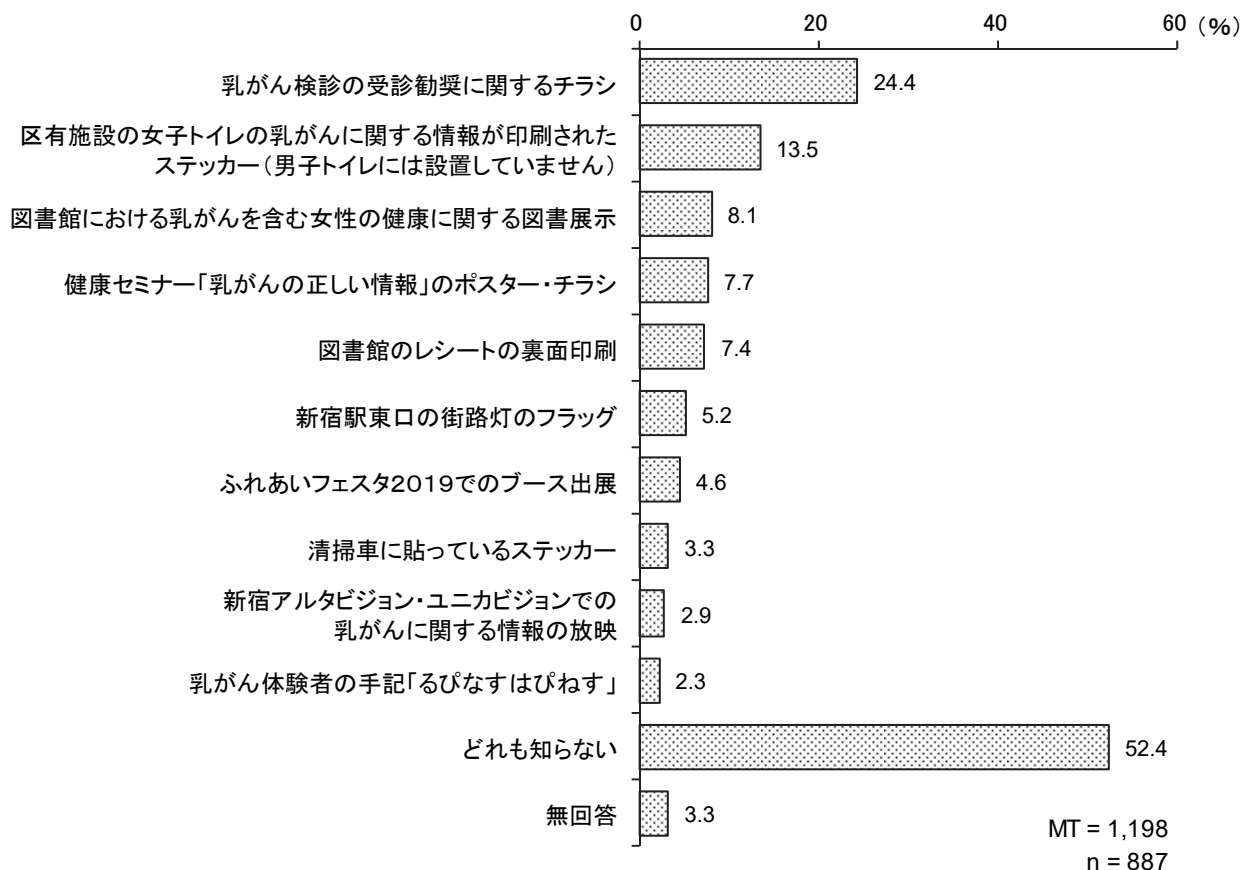
(3) ピンクリボン月間に実施している取組みの認知

◎「乳がん検診の受診勧奨に関するチラシ」が2割台半ば近く

問3 区では、ピンクリボン月間にあわせ、乳がん検診の受診勧奨や乳がんの正しい知識の普及啓発など下記の取組みを行っています。あなたが知っている取組みすべてに○をつけてください。(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=887)
1 図書館のレシートの裏面印刷	7.4%
2 図書館における乳がんを含む女性の健康に関する図書展示	8.1
3 清掃車に貼っているステッカー	3.3
4 区有施設的女子トイレの乳がんに関する情報が印刷されたステッカー (男子トイレには設置していません)	13.5
5 新宿駅東口の街路灯のフラッグ	5.2
6 ふれあいフェスタ2019でのブース出展	4.6
7 乳がん体験者の手記「るびなすはびねす」	2.3
8 乳がん検診の受診勧奨に関するチラシ	24.4
9 健康セミナー「乳がんの正しい情報」のポスター・チラシ	7.7
10 新宿アルタビジョン・ユニカビジョンでの乳がんに関する情報の放映	2.9
11 どれも知らない	52.4
無回答	3.3

図1-3 ピンクリボン月間に実施している取組みの認知



Ⅱ 調査の結果（テーマ１ 生涯を通じた女性の健康づくりについて）

ピンクリボン月間に実施している取組みの認知について、「乳がん検診の受診勧奨に関するチラシ」（24.4％）が2割台半ば近く、「区有施設の女子トイレの乳がんに関する情報が印刷されたステッカー（男子トイレには設置していません）」（13.5％）が1割台半ば近くとなっている。一方、「どれも知らない」（52.4％）が5割強となっている。（図１－３）

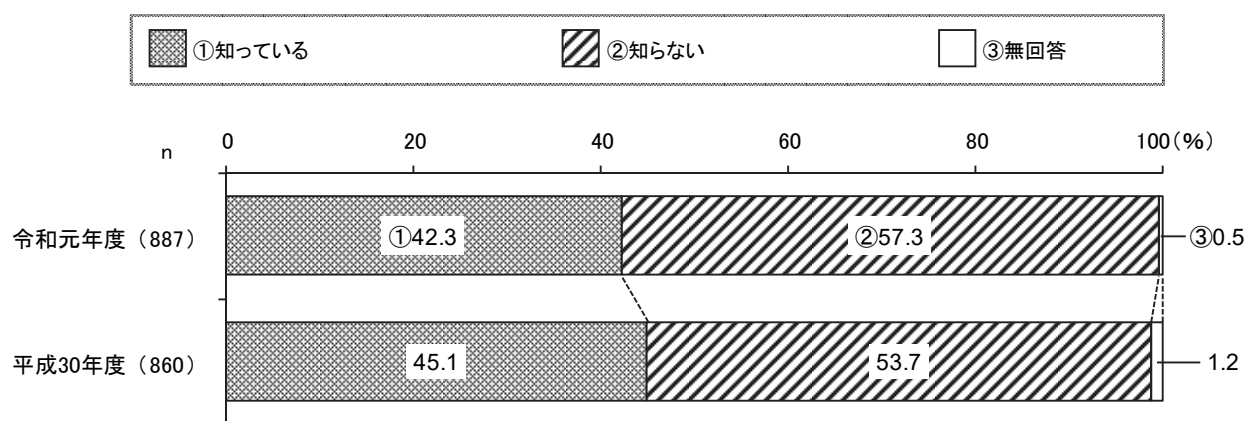
テーマ2 健康づくりについて

(1) 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況

◎ 1日に必要な野菜の摂取量を「知っている」が4割強

問4 あなたは、1日に必要な野菜の摂取量を知っていますか。(○は1つ)		(n=887)
1 知っている		42.3%
2 知らない		57.3
無回答		0.5

図2-1-1 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況
(経年推移)

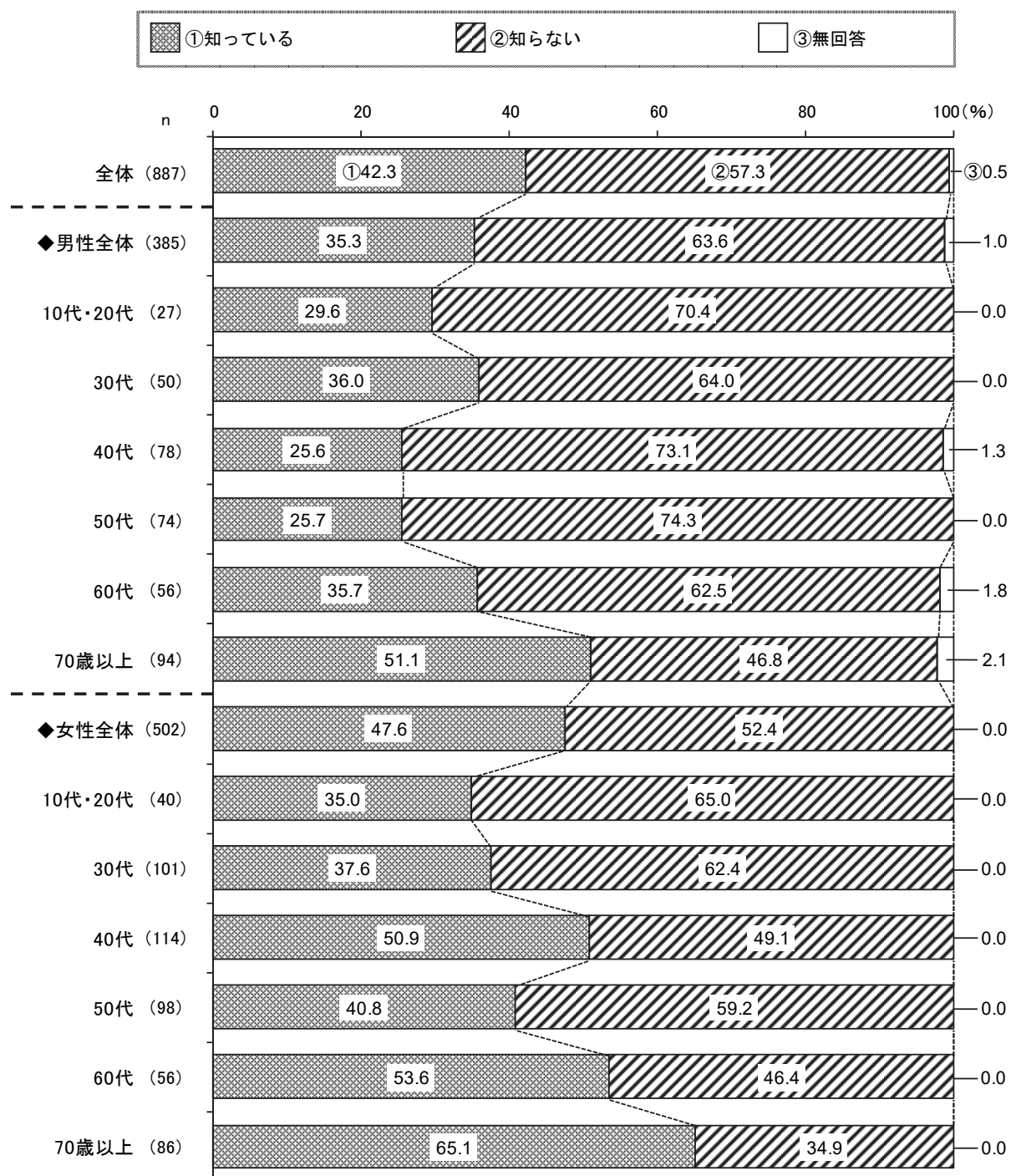


1日に必要な野菜の摂取量の認知状況について、「知っている」(42.3%)が4割強、「知らない」(57.3%)が5割台半ばを超えている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知らない」(57.3%)が前回(53.7%)より3.6ポイント高くなっている。(図2-1-1)

※国が推進する、「健康日本21(第二次)」では、健康増進の観点から、成人で1日350g以上の野菜を食べることが目標とされている。

図2-1-2 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況
（性別・性／年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（47.6%）が4割台半ばを超え、男性（35.3%）を12.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は女性の70歳以上（65.1%）が6割台半ばと高くなっており、全体（42.3%）を22.8ポイント上回っている。（図2-1-2）

(2) 1日に食べる野菜料理の量

◎必要な摂取量である「5皿以上」が1割未満

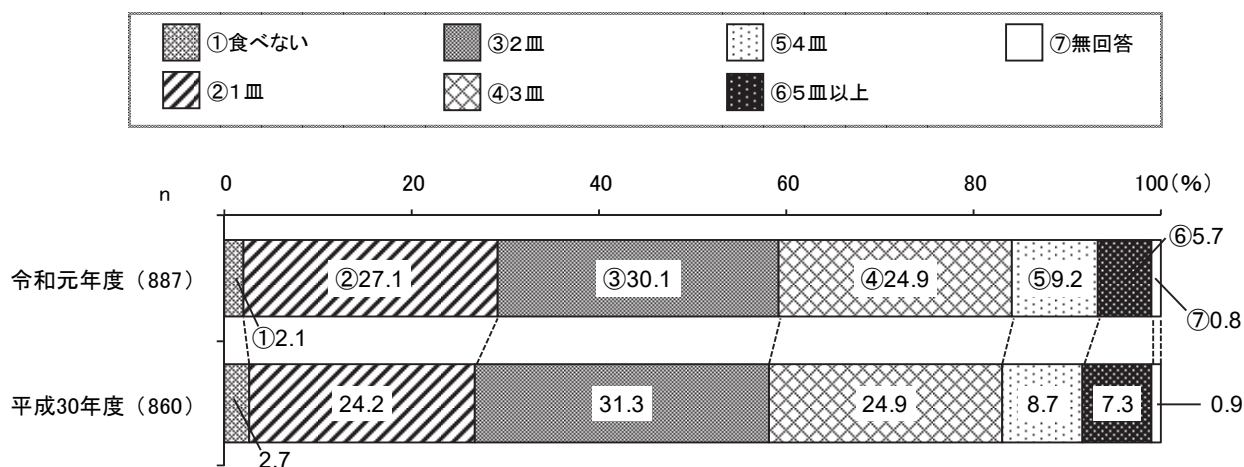
問5 野菜料理を平均で1日何皿くらい食べていますか。(〇は1つ)

(1皿の量は、約70g。直径10cmの小皿(小鉢)にきれいに入る程度です)

(n=887)

1 食べない	2.1%
2 1皿	27.1
3 2皿	30.1
4 3皿	24.9
5 4皿	9.2
6 5皿以上	5.7
無回答	0.8

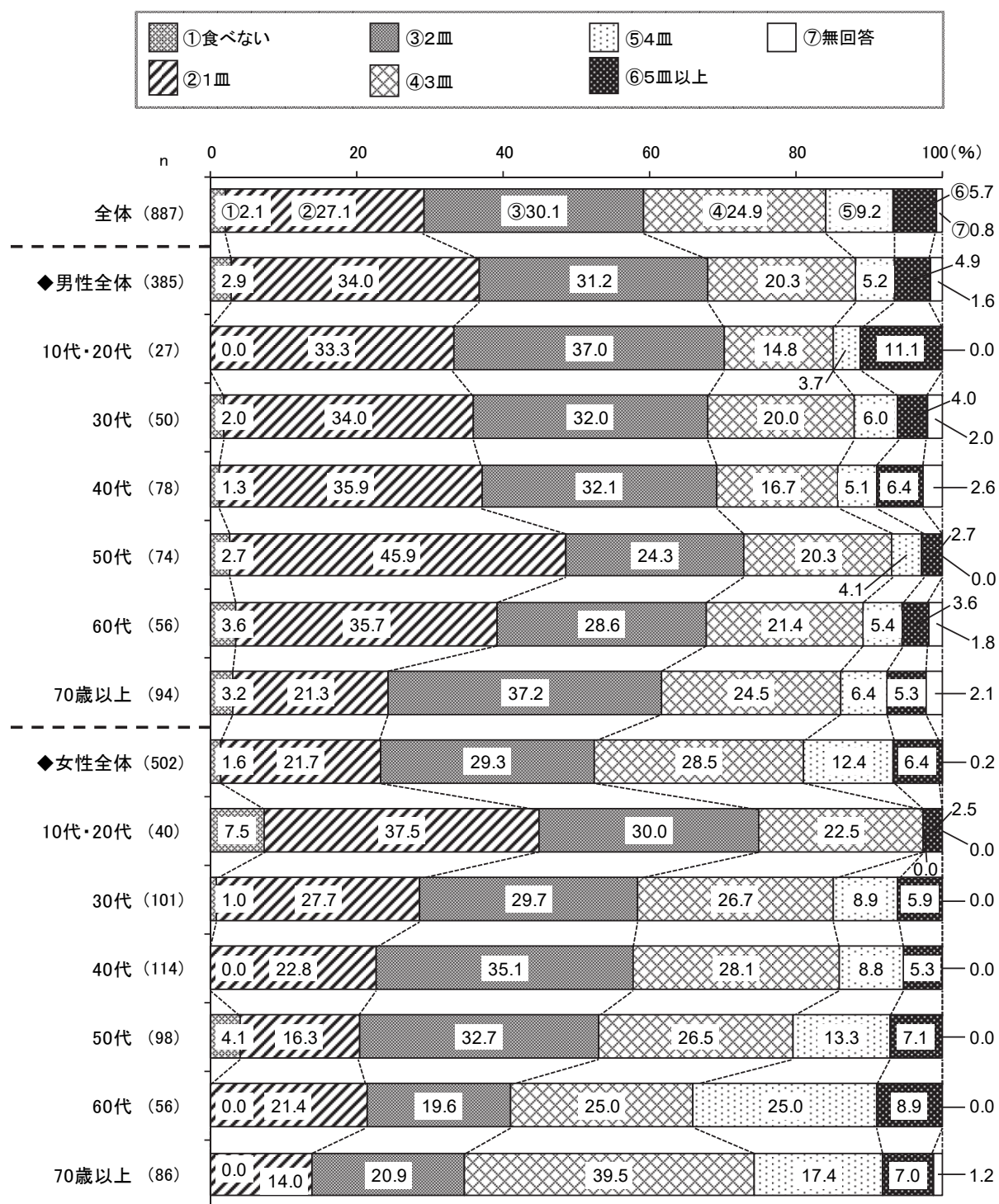
図2-2-1 1日に食べる野菜料理の量
(経年推移)



1日に食べる野菜料理の量について、「2皿」(30.1%)が約3割、「1皿」(27.1%)が2割台半ばを超え、「3皿」(24.9%)が2割台半ば近くとなっている。

1日に必要な摂取量である「5皿以上」(5.7%)は1割未満となっており、前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、前回(7.3%)より1.6ポイント低くなっている。(図2-2-1)

図2-2-2 1日に食べる野菜料理の量
（性別・性／年代別）



性別でみると、「1皿」は男性（34.0%）が3割台半ば近くと、女性（21.7%）を12.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「5皿以上」は男性の10代・20代（11.1%）が1割強で最も高くなっている。（図2-2-2）

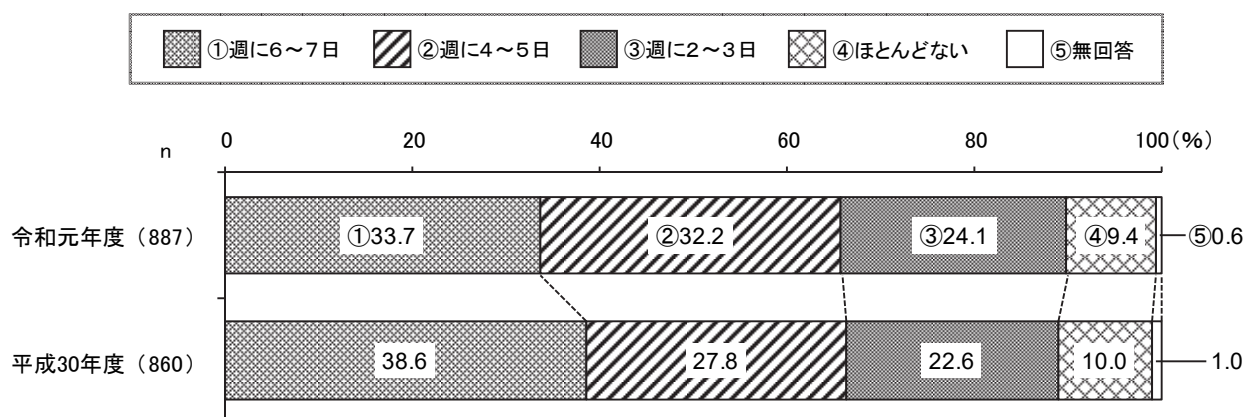
(3) 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで食べる

◎「週に6～7日」が3割台半ば近く

問6 あなたは、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで1日に2回以上あるのは週に何日くらいですか。(〇は1つ)

	(n=887)
1 週に6～7日	33.7%
2 週に4～5日	32.2
3 週に2～3日	24.1
4 ほとんどない	9.4
無回答	0.6

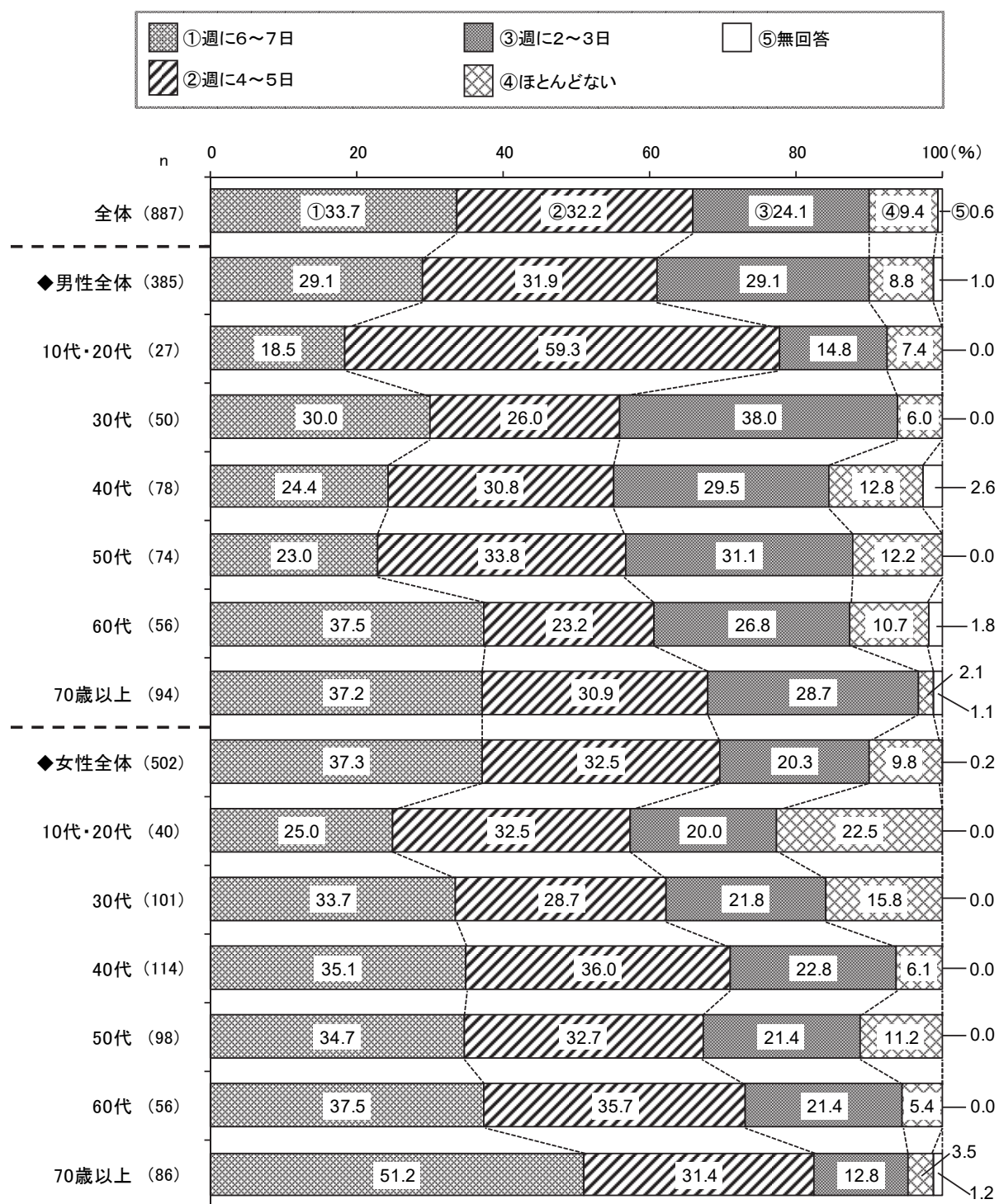
図2-3-1 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで食べること
(経年推移)



1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで食べるについて、「週に6～7日」(33.7%)が3割台半ば近く、「週に4～5日」(32.2%)が3割強、「週に2～3日」(24.1%)が2割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「週に6～7日」(33.7%)が前回(38.6%)より4.9ポイント低くなっている。(図2-3-1)

図2-3-2 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることで食べること
（性別・性／年代別）



性別でみると、「週に6～7日」は女性（37.3%）が3割台半ばを超え、男性（29.1%）を8.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「週に6～7日」は女性の70歳以上（51.2%）が5割強と高くなっており、全体（33.7%）を17.5ポイント上回っている。（図2-3-2）

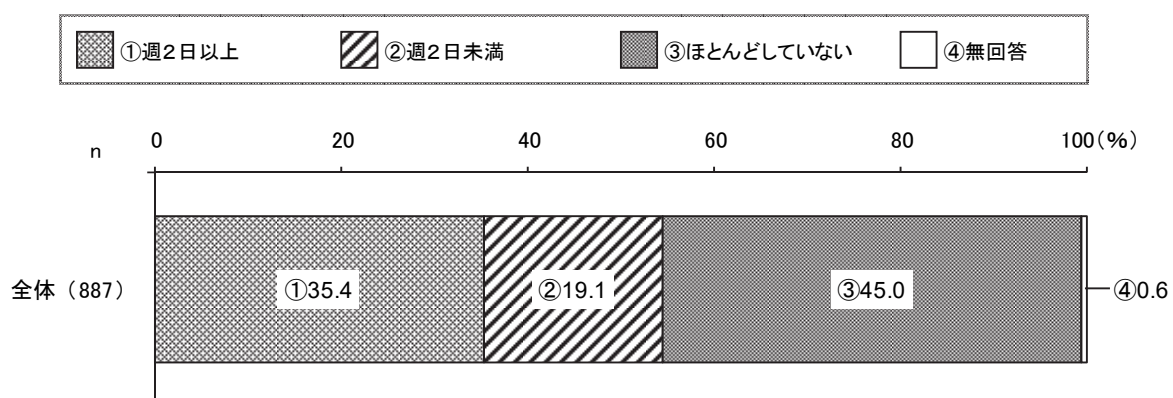
(4) 運動の頻度

◎「週2日以上」は3割台半ば

問7 あなたは、一日合計 30 分以上の運動（軽く汗をかく程度以上の運動）を 1 週間でどれくらいしていますか。（○は1つ）

	(n=887)
1 週2日以上	35.4%
2 週2日未満	19.1
3 ほとんどしていない	45.0
無回答	0.6

図2-4 運動の頻度



運動の頻度について、「週2日以上」（35.4%）が3割台半ば、「週2日未満」（19.1%）が2割弱、「ほとんどしていない」（45.0%）が4割台半ばとなっている。（図2-4）

（５）運動の期間

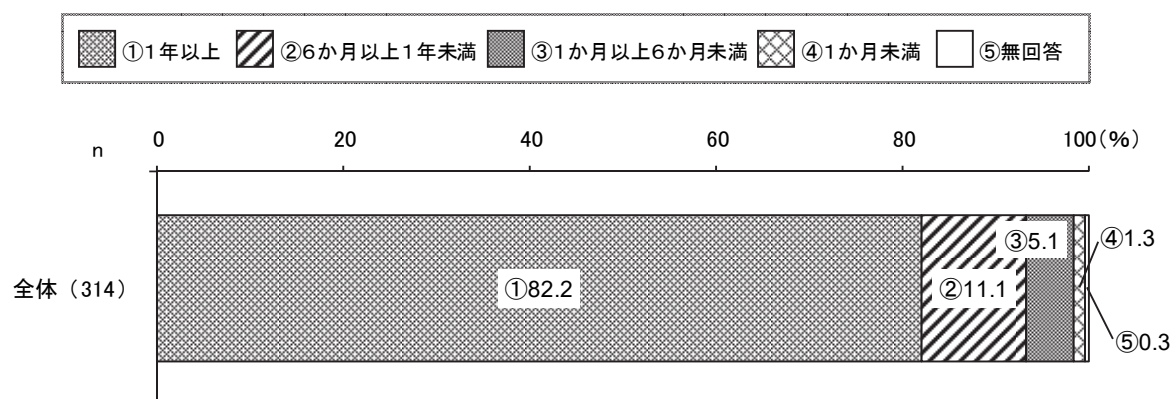
◎「１年以上」が８割強

問７－１ 問７で、「１」に○をした方にお伺いします。

その運動をどれくらいの期間継続していますか。（○は１つ）

	(n=314)
１ １年以上	82.2%
２ ６か月以上１年未満	11.1
３ １か月以上６か月未満	5.1
４ １か月未満	1.3
無回答	0.3

図２－５ 運動の期間



運動の期間について、「１年以上」（82.2%）が８割強となっている。（図２－５）

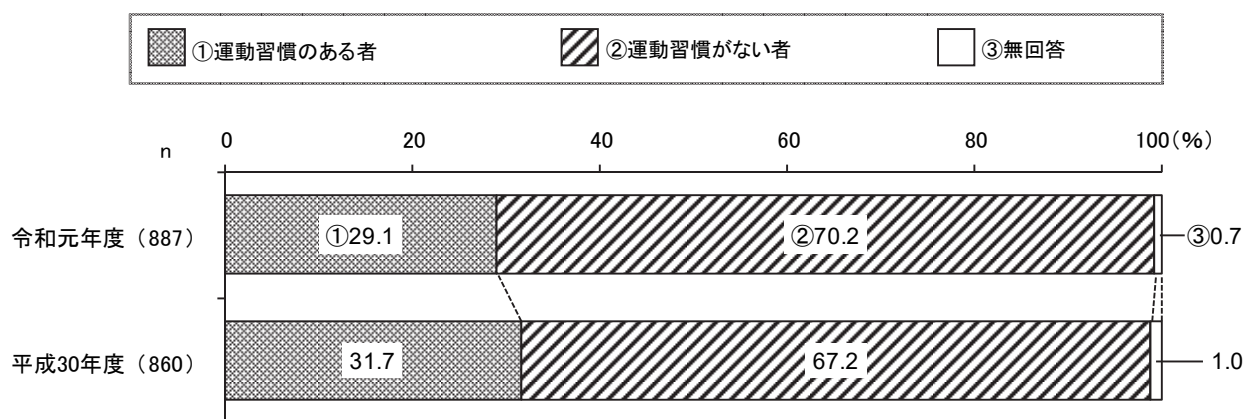
（参考）運動習慣のある者について

◎厚生労働省で毎年実施している「国民健康・栄養調査」では「運動習慣のある者」とは、
1回30分以上の運動を、週に2回以上実施し、1年以上持続している者とされている

（参考）運動習慣のある者にあてはめた結果は次のようになりました。

	(n=887)
1 運動習慣のある者	29.1%
※問7で「週2日以上」、問7-1「1年以上」と回答した方	
2 運動習慣がない者	70.2
無回答	0.7

（参考）運動習慣のある者について （経年推移）

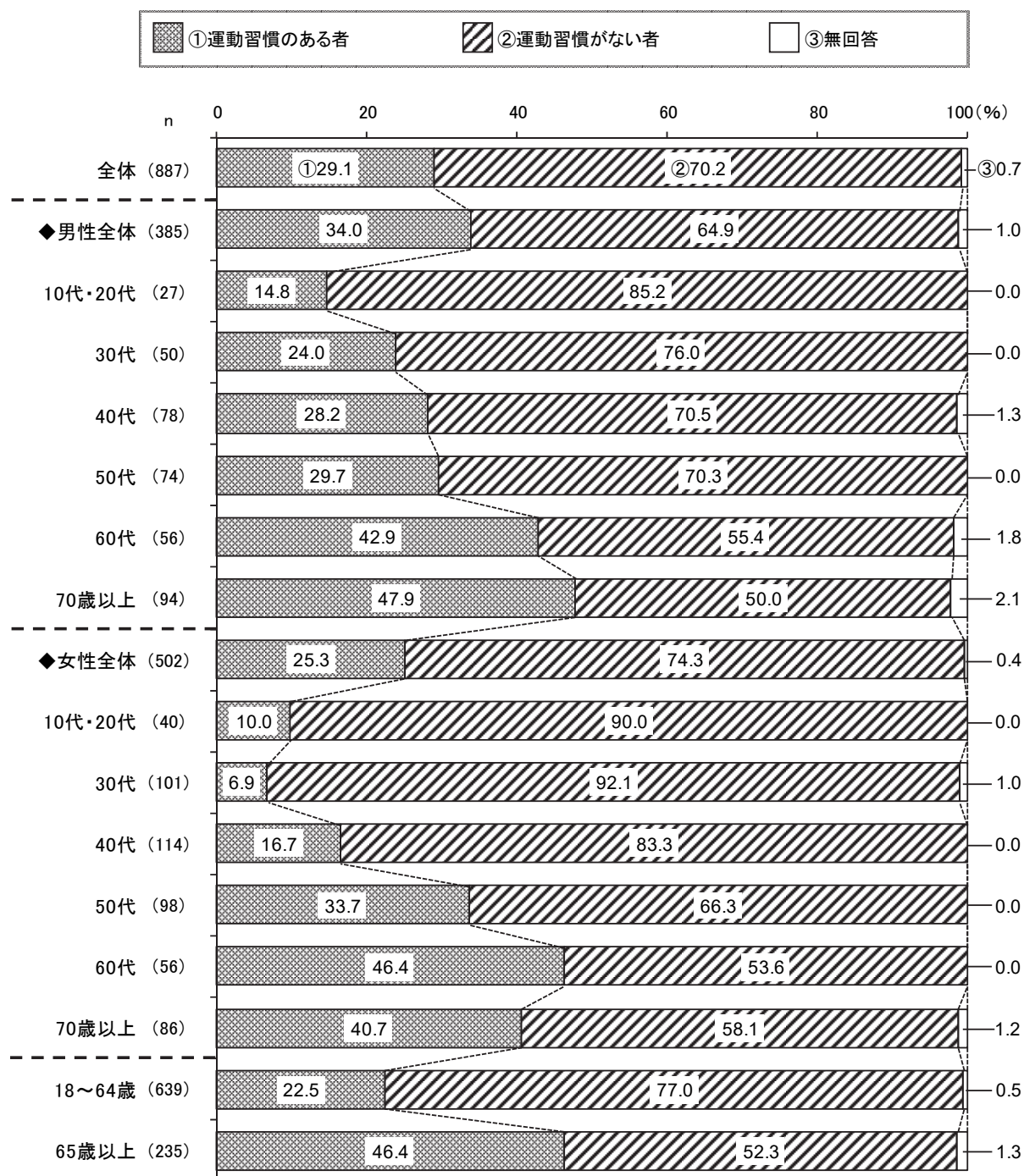


運動習慣のある者について、「運動習慣のある者」(29.1%)が3割弱、「運動習慣がない者」(70.2%)が約7割となっている。

前回の調査結果（平成30年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「運動習慣がない者」(70.2%)が前回(67.2%)より3.0ポイント高くなっている。

Ⅱ 調査の結果（テーマ2 健康づくりについて）

（参考）運動習慣のある者について （性別・性／年代別、年齢（2区分）別）



性別でみると、「運動習慣のある者」は男性（34.0%）が3割台半ば近くと、女性（25.3%）を8.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「運動習慣のある者」は男性の70歳以上（47.9%）が4割台半ばを超えて最も高く、女性の30代（6.9%）が1割未満で最も低くなっている。

年齢（2区分）別でみると、「運動習慣のある者」は65歳以上（46.4%）が4割台半ばを超え、18～64歳（22.5%）を23.9ポイント上回っている。

(6) 日常生活で体を動かす時間

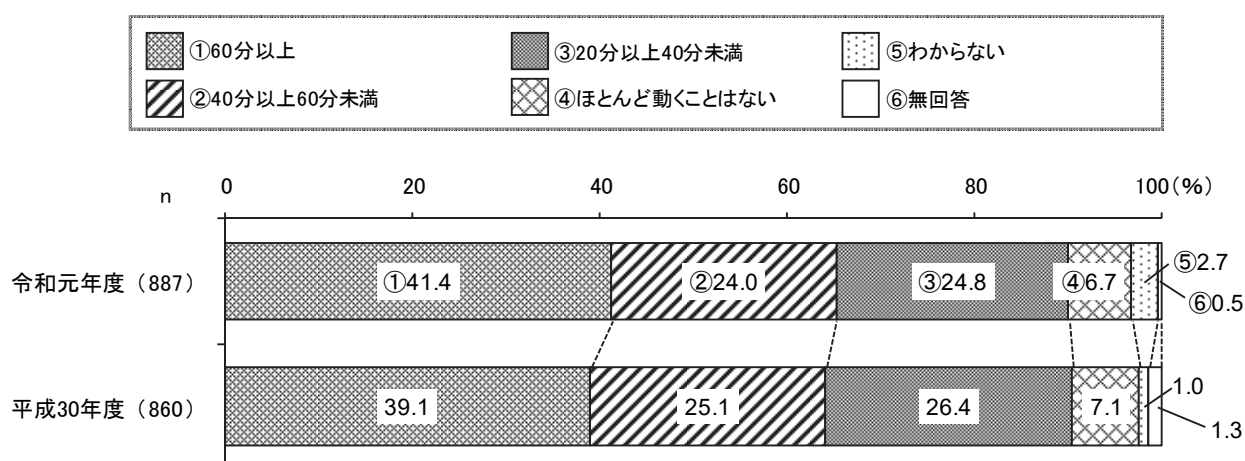
◎「60分以上」が4割強

問8 日常生活で体を動かすことについておたずねします。

あなたは毎日どれくらい体を動かしていますか。(〇は1つ)

	(n=887)
1 60分以上	41.4%
2 40分以上60分未満	24.0
3 20分以上40分未満	24.8
4 ほとんど動くことはない	6.7
5 わからない	2.7
無回答	0.5

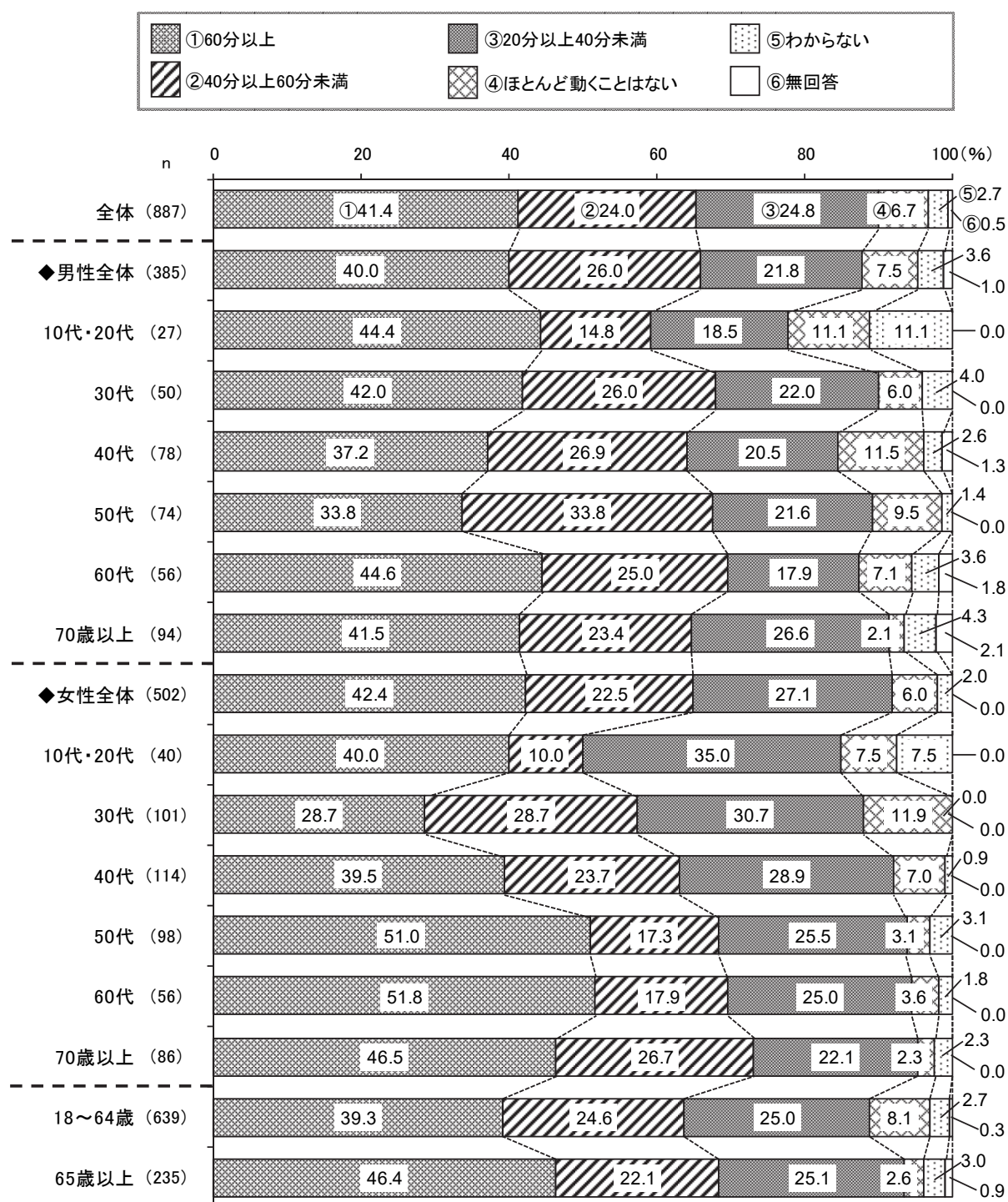
図2-6-1 日常生活で体を動かす時間
(経年推移)



日常生活で体を動かす時間について、「60分以上」(41.4%)が4割強で最も高く、次いで「20分以上40分未満」(24.8%)および「40分以上60分未満」(24.0%)がともに2割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「60分以上」(41.4%)が前回(39.1%)より2.3ポイント高くなっている。(図2-6-1)

図 2-6-2 日常生活で体を動かす時間
（性別・性／年代別、年齢（2区分）別）



性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「60 分以上」は女性の 60 代（51.8%）が 5 割強で最も高く、女性の 30 代（28.7%）が 3 割近くで最も低くなっている。（図 2-6-2）

(参考)

年齢を18～64歳と65歳以上とに区分し「身体活動基準2013」(厚生労働省)で推奨されている身体活動(18～64歳:毎日60分以上、65歳以上:毎日40分以上)をしている割合を抜き出すと、18～64歳は39.3%、65歳以上は68.5%となっている。

（7）ロコモティブシンドロームの認知状況

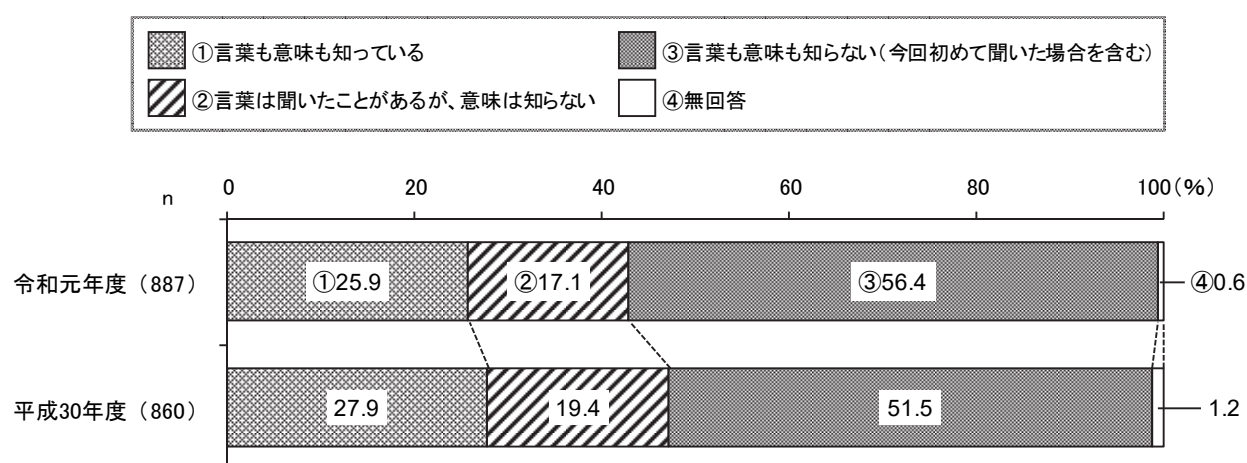
◎「言葉も意味も知っている」が2割台半ば

問9 あなたは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つ）

(n=887)

1 言葉も意味も知っている	25.9%
2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	17.1
3 言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合を含む）	56.4
無回答	0.6

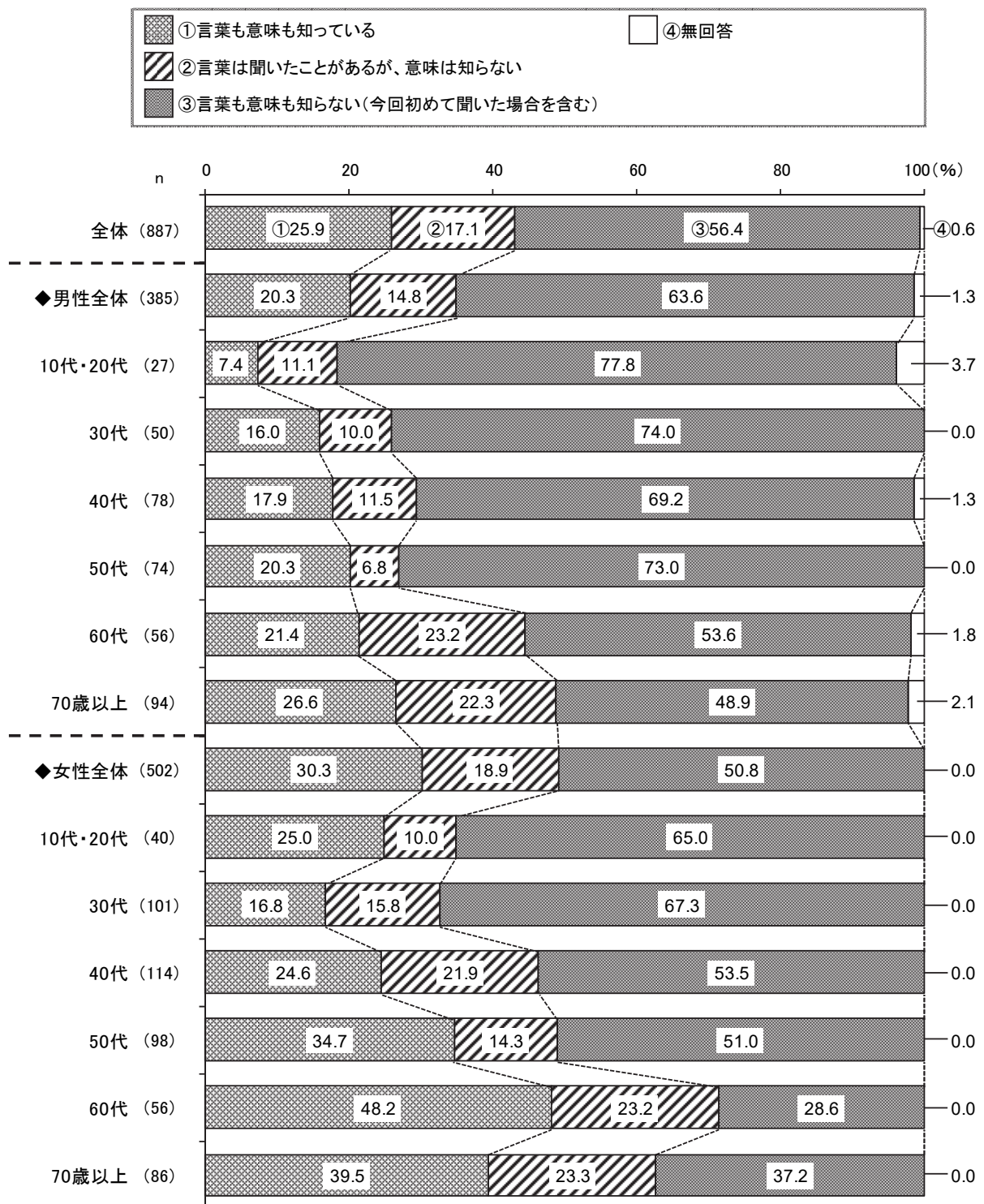
図2-7-1 ロコモティブシンドロームの認知状況
（経年推移）



ロコモティブシンドロームの認知状況について、「言葉も意味も知っている」（25.9%）が2割台半ば、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（17.1%）が1割台半ばを超え、「言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合を含む）」（56.4%）が5割台半ばを超えている。

前回の調査結果（平成30年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合を含む）」（56.4%）が前回（51.5%）より4.9ポイント高くなっている。（図2-7-1）

図2-7-2 ロコモティブシンドロームの認知状況
(性別・性／年代別)



性別でみると、「言葉も意味も知っている」は女性（30.3%）が約3割と、男性（20.3%）を10.0ポイント上回っている。

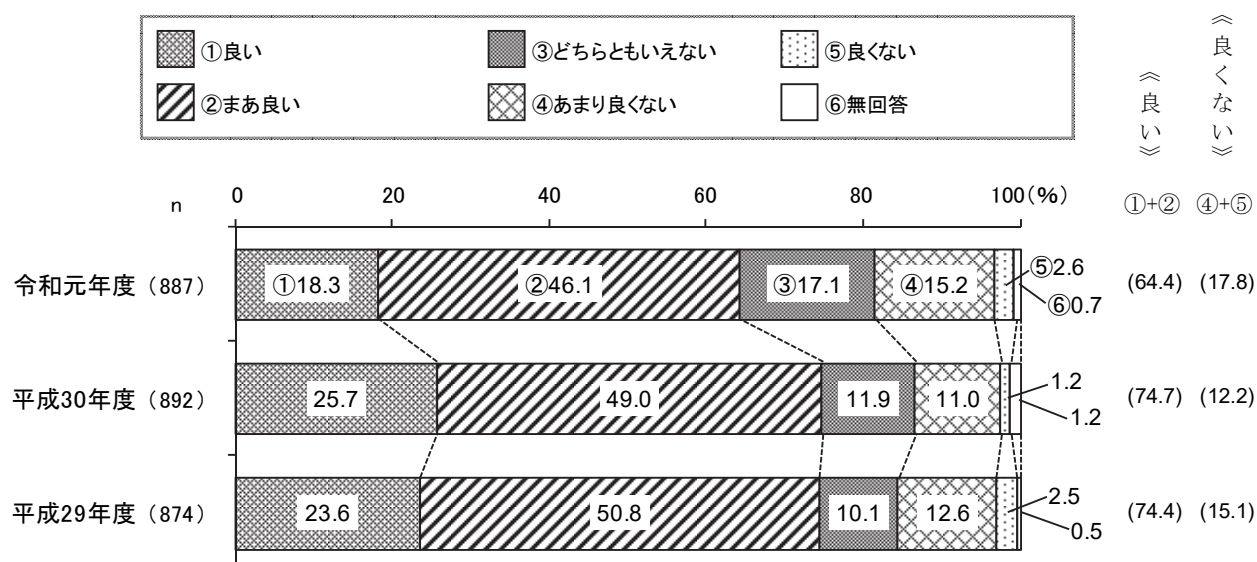
性／年代別でみると、「言葉も意味も知っている」は女性の60代（48.2%）が5割近くで最も高く、男性の10代・20代（7.4%）が1割未満で最も低くなっている。（図2-7-2）

（８）現在の健康状態

◎ 《良い》が6割台半ば近く

問１０ あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。（○は１つ）		(n=887)
1	良い	18.3%
2	まあ良い	46.1
3	どちらともいえない	17.1
4	あまり良くない	15.2
5	良くない	2.6
	無回答	0.7

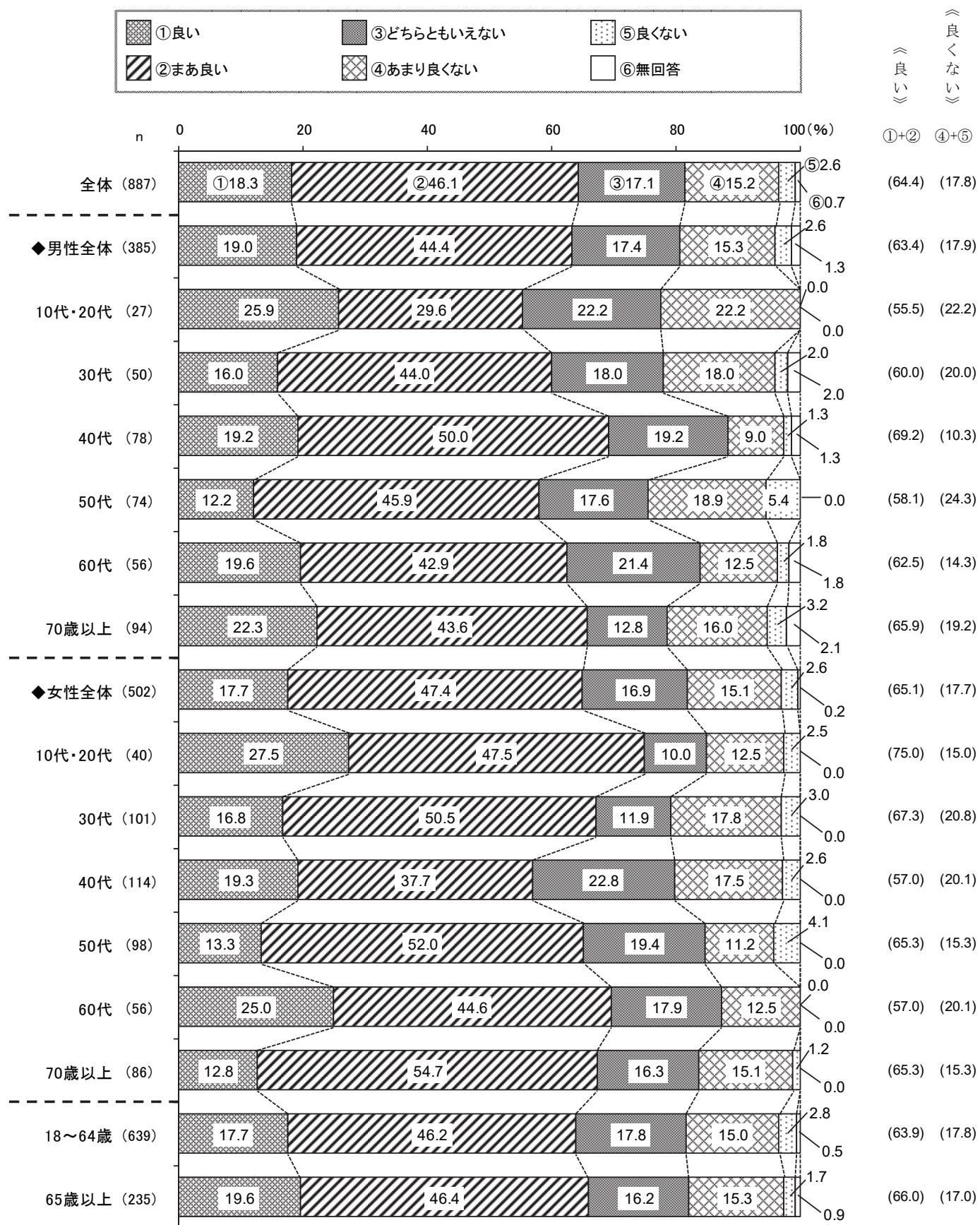
図２－８－１ 現在の健康状態
（経年推移）



現在の健康状態について、「良い」(18.3%)と「まあ良い」(46.1%)を合わせた《良い》(64.4%)が6割台半ば近く、「あまり良くない」(15.2%)と「良くない」(2.6%)を合わせた《良くない》(17.8%)が1割台半ばを超えている。

過去3年間の経年推移をみると、《良い》(64.4%)が前回(74.7%)より10.3ポイント低くなっている。(図２－８－１)

図2-8-2 現在の健康状態
(性別・性/年代別、年齢(2区分)別)



Ⅱ 調査の結果（テーマ2 健康づくりについて）

性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《良い》は女性の10代・20代（75.0%）が7割台半ばで最も高くなっており、全体（64.4%）を10.6ポイント上回っている。

年齢（2区分）別でみると、大きな差はみられない。（図2－8－2）

(9) 飲酒頻度

◎《週3日以上》が3割台半ば近く

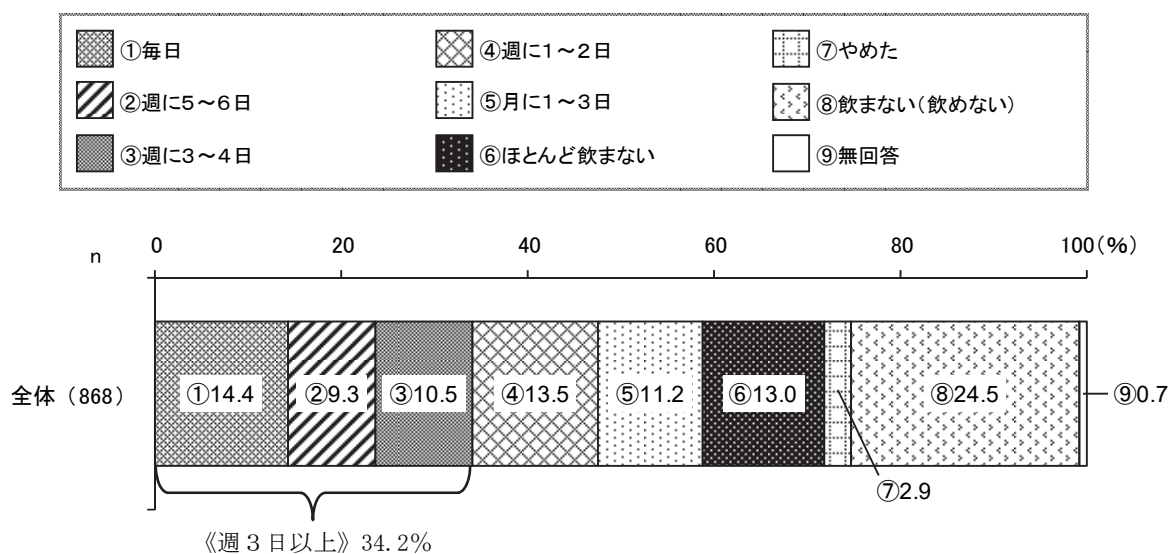
【問うで、「20～24歳」～「14～80歳以上」に○をした方】のみで集計

問11 あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、洋酒など）を飲みますか。（○は1つ）

(n=868)

1 毎日	14.4%
2 週に5～6日	9.3
3 週に3～4日	10.5
4 週に1～2日	13.5
5 月に1～3日	11.2
6 ほとんど飲まない	13.0
7 やめた	2.9
8 飲まない（飲めない）	24.5
無回答	0.7

図2-9 飲酒頻度



飲酒頻度について、「飲まない（飲めない）」（24.5%）が2割台半ば近くとなっている。「毎日」（14.4%）と「週に5～6日」（9.3%）と「週に3～4日」（10.5%）を合わせた《週3日以上》（34.2%）が3割台半ば近くとなっている。（図2-9）

（10） 1日あたりの飲酒量

◎お酒を飲む量は1日「1合（180ml）未満」が3割台半ばを超え

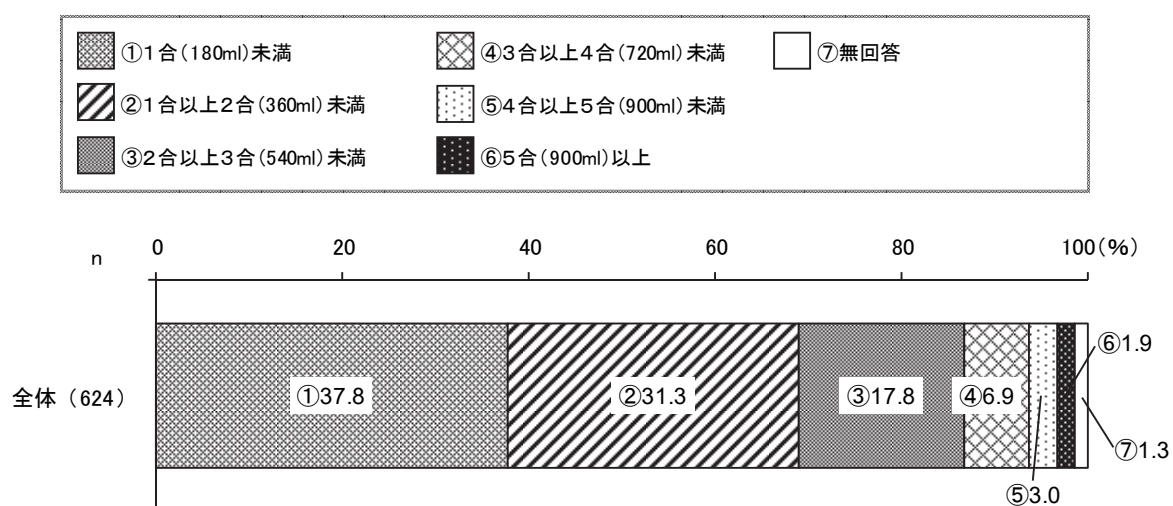
【問うで、「2 20～24歳」～「14 80歳以上」に○をした方】のみで集計

問11-1 問11で、「1」～「6」に○をした方にお伺いします。

お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。（○は1つ）

	(n=624)
1 1合（180ml）未満	37.8%
2 1合以上2合（360ml）未満	31.3
3 2合以上3合（540ml）未満	17.8
4 3合以上4合（720ml）未満	6.9
5 4合以上5合（900ml）未満	3.0
6 5合（900ml）以上	1.9
無回答	1.3

図2-10 1日あたりの飲酒量



1日あたりの飲酒量について、「1合（180ml）未満」（37.8%）が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「1合以上2合（360ml）未満」（31.3%）が3割強、「2合以上3合（540ml）未満」（17.8%）が1割台半ばを超えている。（図2-10）

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について

◎厚生労働省で毎年実施している「国民健康・栄養調査」では「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」とは、1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性20g以上の者とされており、以下の方法で算出。

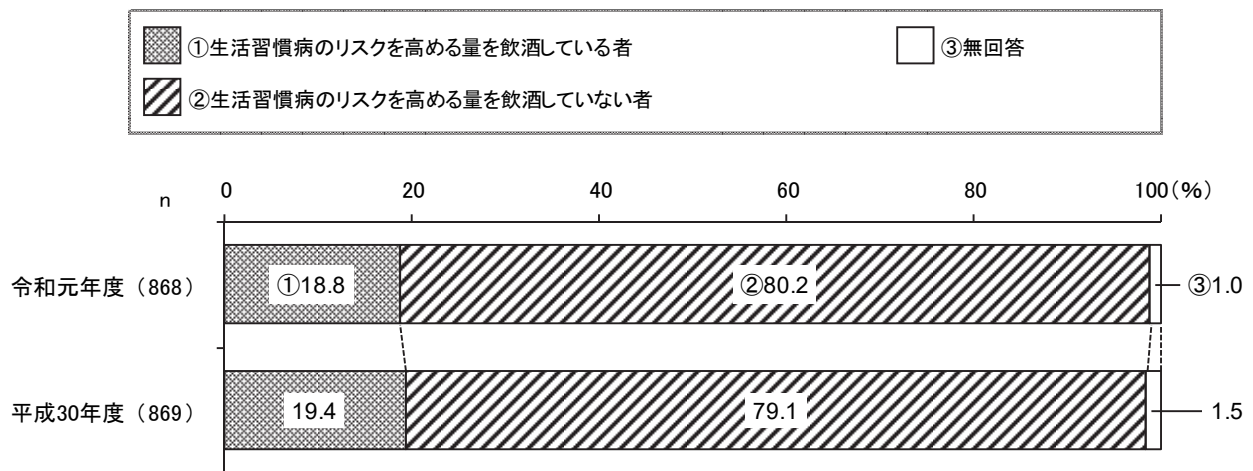
- ①男性：「毎日×2合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」
 ②女性：「毎日×1合以上」＋「週5～6日×1合以上」＋「週3～4日×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

【問うで、「20～24歳」～「14歳以上」に○をした方】のみで集計

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者にあてはめた結果は次のようになりました。

	(n=868)
1 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者	18.8%
※問11と問11-1で上記の条件にあてはまる回答をした方	
2 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者	80.2
無回答	1.0

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について （経年推移）

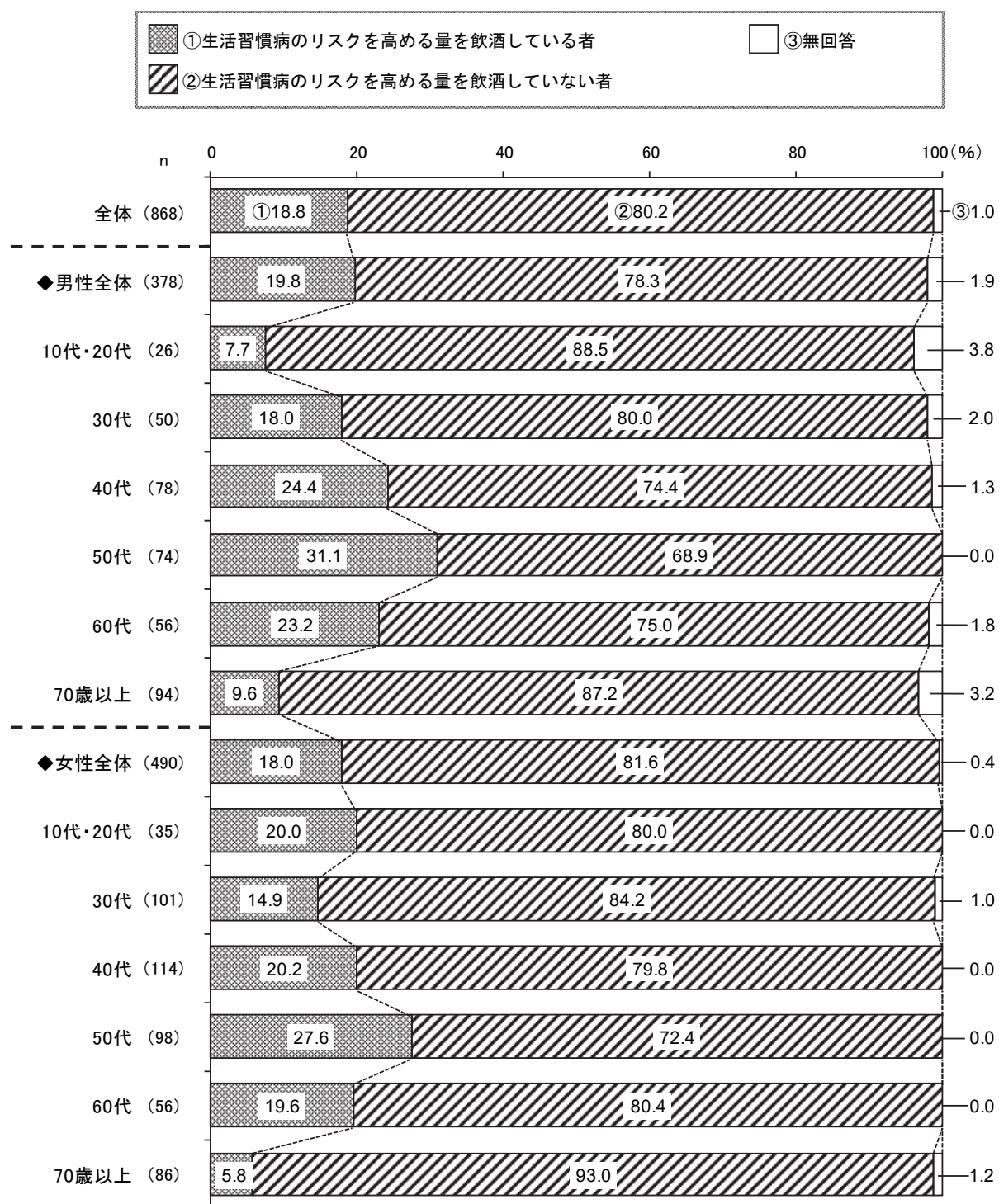


生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」（18.8％）が2割近く、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者」（80.2％）が約8割となっている。

前回の調査結果（平成30年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、割合に大きな変化はみられない。

Ⅱ 調査の結果（テーマ2 健康づくりについて）

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について （性別・性／年代別）



性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は男性の 50 代（31.1%）が 3 割強で最も高くなっており、全体（18.8%）を 12.3 ポイント上回っている。

(11) 喫煙状況

◎たばこを「吸わない」が約8割

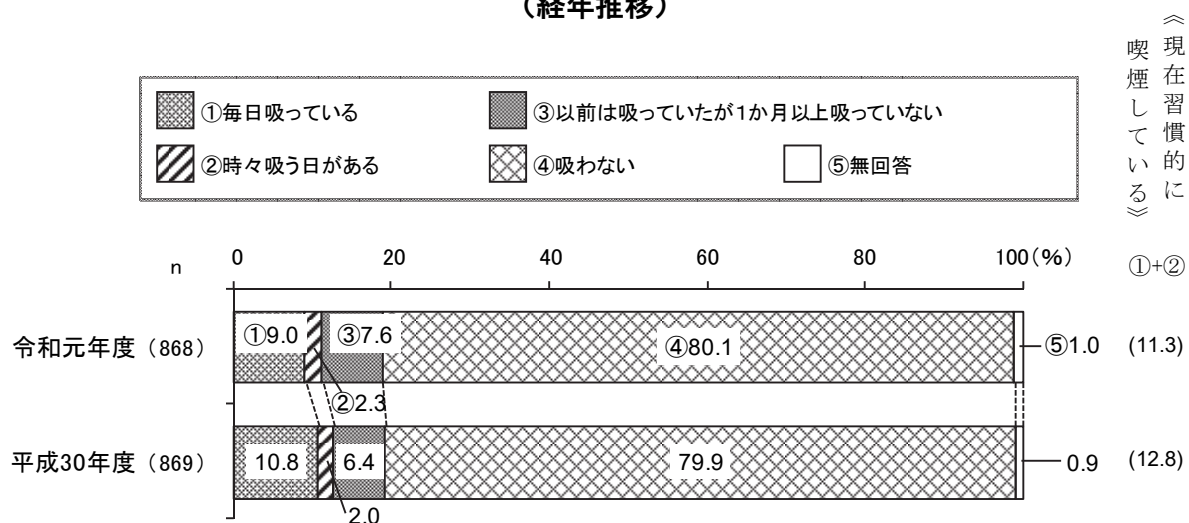
【問うで、「20～24歳」～「14～80歳以上」に○をした方】のみで集計

問12 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

(n=868)

1 毎日吸っている	9.0%
2 時々吸う日がある	2.3
3 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	7.6
4 吸わない	80.1
無回答	1.0

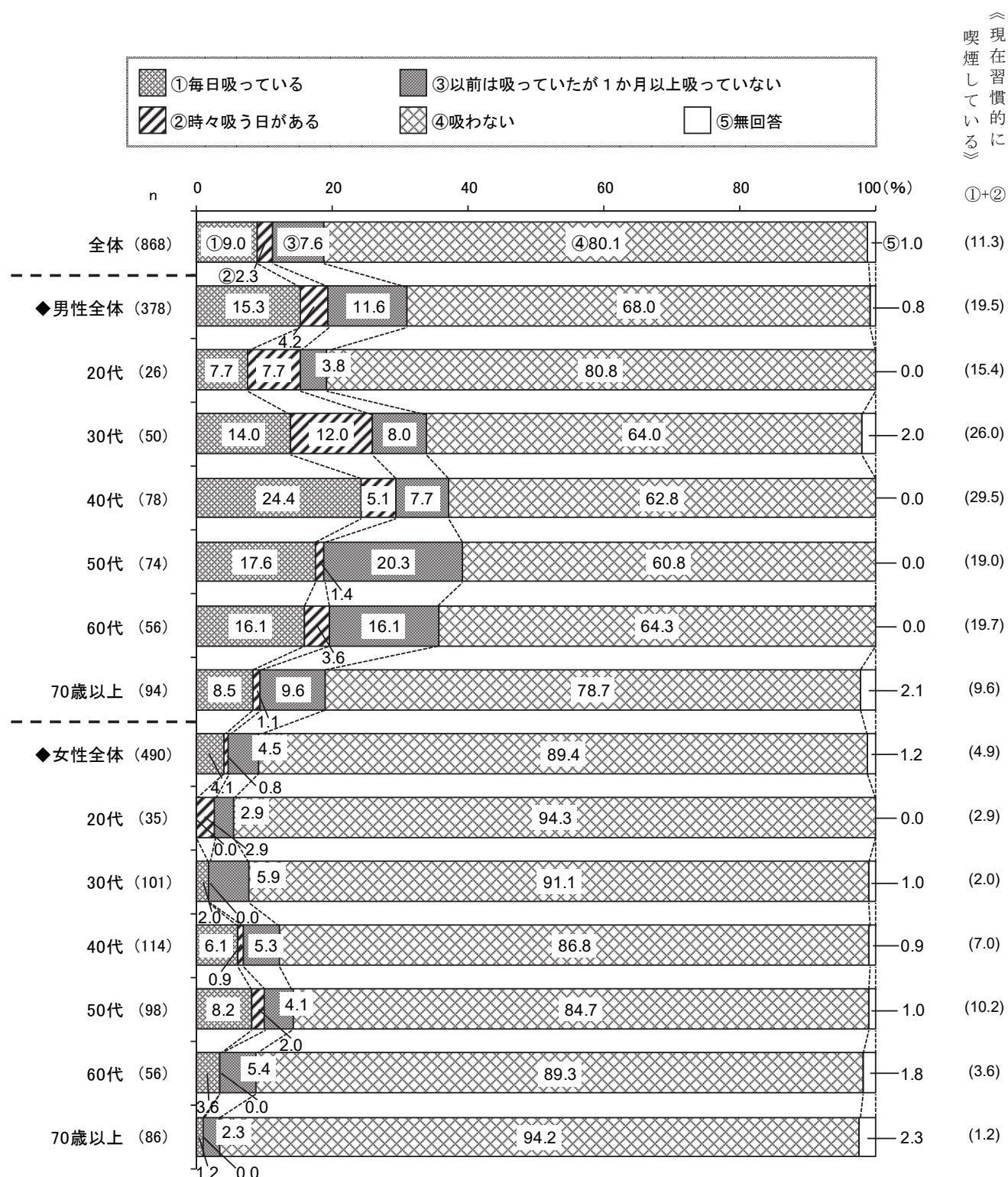
図2-11-1 喫煙状況
(経年推移)



喫煙状況について、「吸わない」(80.1%)が約8割となっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、割合に大きな変化はみられない。(図2-11-1)

図2-11-2 喫煙状況
(性別・性／年代別)



性別でみると、「吸わない」は女性（89.4%）が9割弱と、男性（68.0%）を21.4ポイント上回っている。

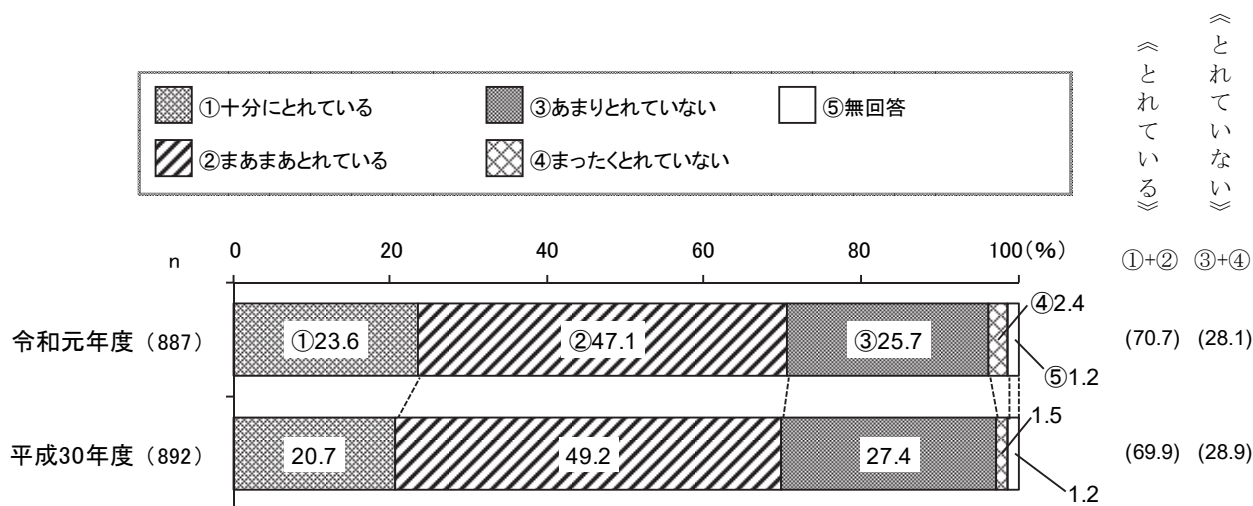
性／年代別でみると、「毎日吸っている」（9.0%）と「時々吸う日がある」（2.3%）を合わせた《現在習慣的に喫煙している》は男性の40代（29.5%）が3割弱で最も高くなっており、全体（11.3%）を18.2ポイント上回っている。（図2-11-2）

(12) 睡眠での十分な休養

◎ 《とれている》が約7割

問13 この1か月、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。(〇は1つ)

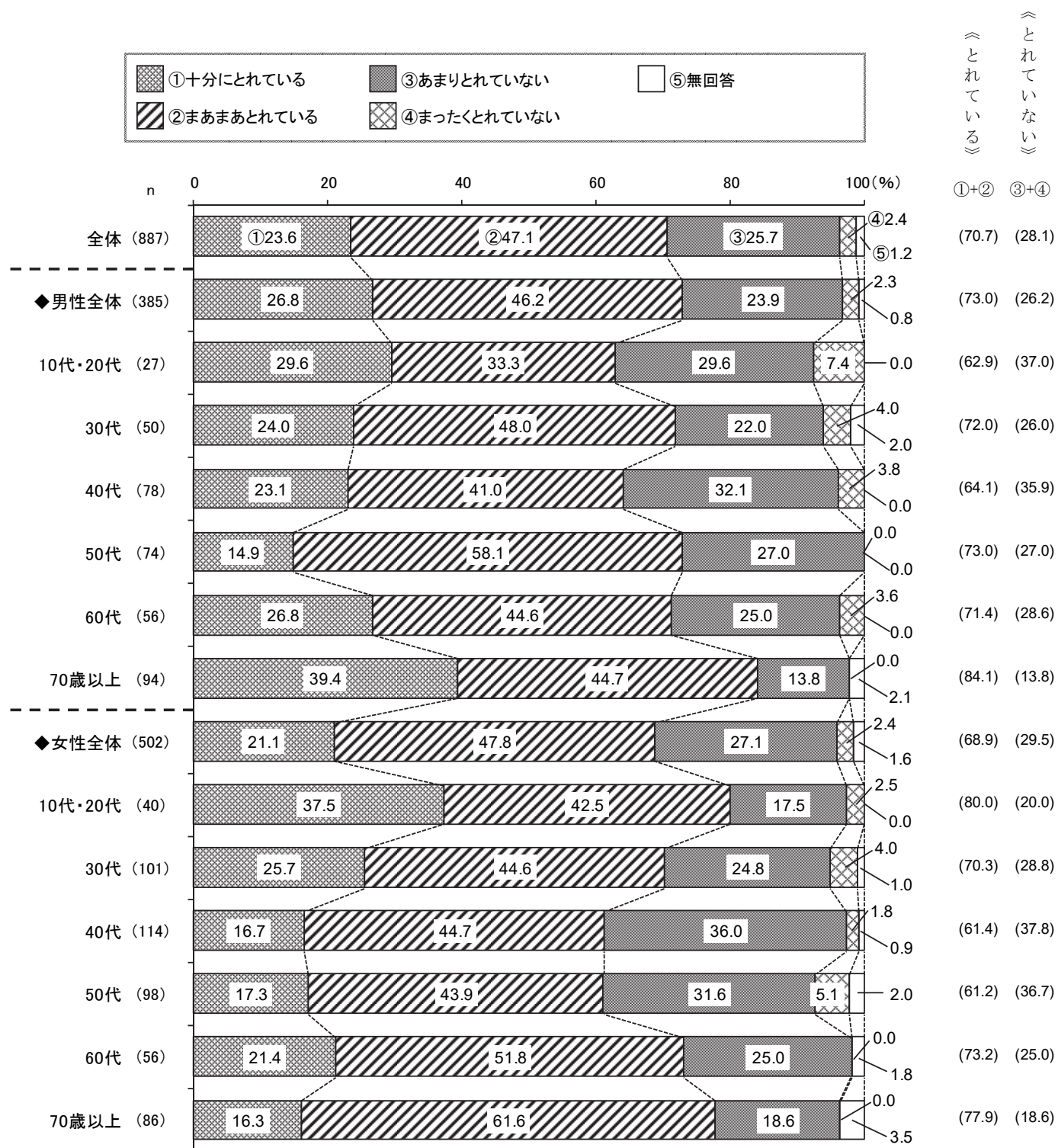
	(n=887)
1 十分にとれている	23.6%
2 まあまあとれている	47.1
3 あまりとれていない	25.7
4 まったくとれていない	2.4
無回答	1.2

図2-12-1 睡眠での十分な休養
(経年推移)

睡眠での十分な休養について、「十分にとれている」(23.6%)と「まあまあとれている」(47.1%)を合わせた《とれている》(70.7%)が約7割、「あまりとれていない」(25.7%)と「まったくとれていない」(2.4%)を合わせた《とれていない》(28.1%)が3割近くとなっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「十分にとれている」(23.6%)が前回(20.7%)より2.9ポイント高くなっている。(図2-12-1)

図2-12-2 睡眠での十分な休養
（性別・性／年代別）



性別でみると、《とれている》は男性（73.0%）が7割台半ば近くと、女性（68.9%）を4.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《とれている》は男性の70歳以上（84.1%）が8割台半ば近くで最も高くなっており、全体（70.7%）を13.4ポイント上回っている。（図2-12-2）

(13) こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について

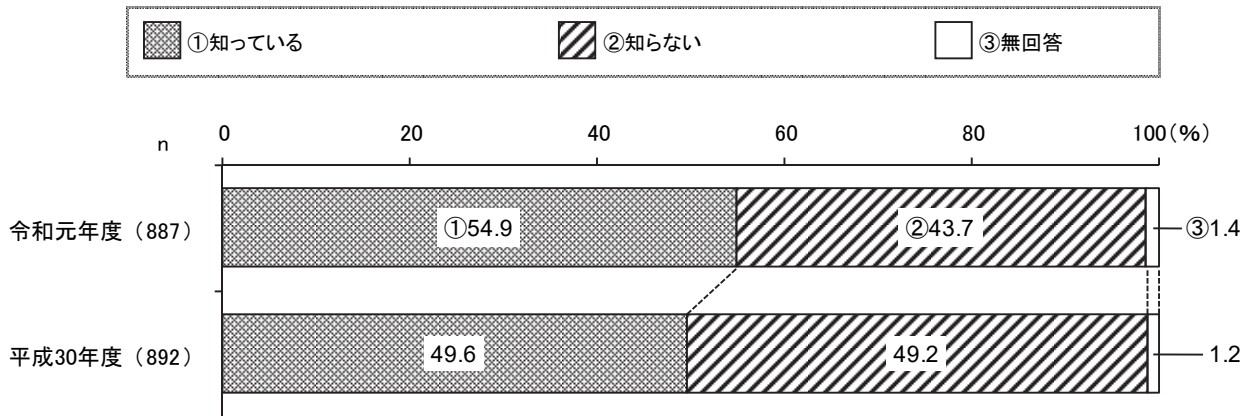
◎「知っている」が5割台半ば近く

問14 あなたは、こころの問題（ストレスや病気など）について気軽に相談できる場所・窓口を知っていますか。（○は1つ）

(n=887)

1 知っている	54.9%
2 知らない	43.7
無回答	1.4

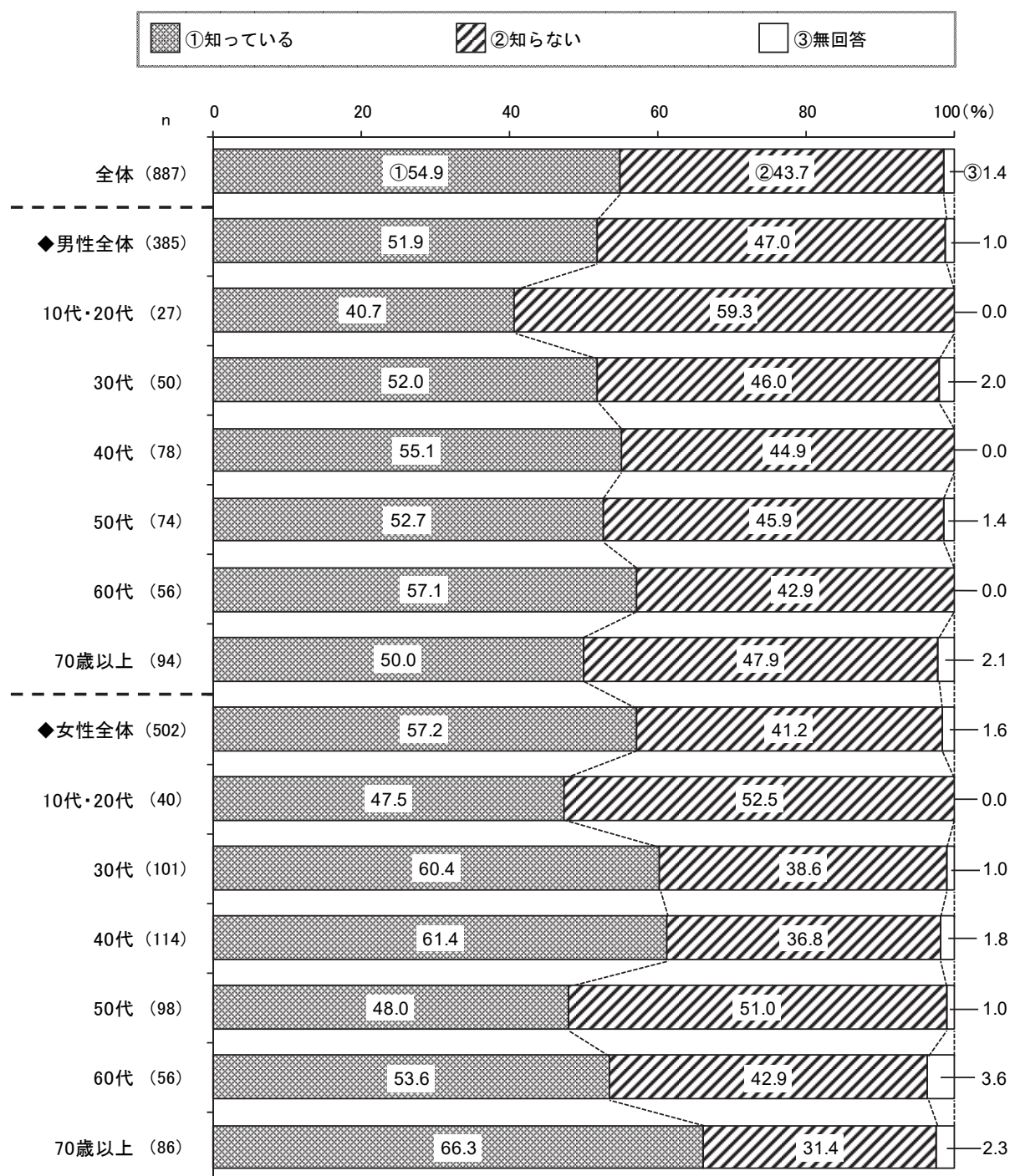
図2-13-1 こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について
(経年推移)



こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について、「知っている」(54.9%)が5割台半ば近く、「知らない」(43.7%)が4割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知っている」(54.9%)が前回(49.6%)より5.3ポイント高くなっている。(図2-13-1)

図2-13-2 こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について
（性別・性／年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（57.2%）が5割台半ばを超え、男性（51.9%）を5.3ポイント上回っている。

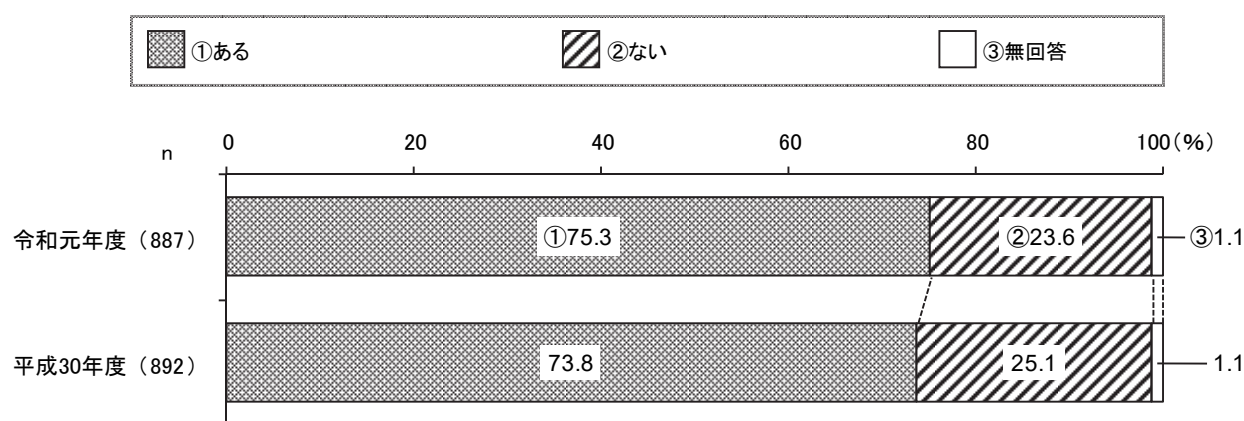
性／年代別でみると、「知らない」は男性の10代・20代（59.3%）が6割弱と高くなっており、全体（43.7%）を15.6ポイント上回っている。（図2-13-2）

(14) かかりつけ歯科医の有無

◎「ある」が7割台半ば

問15 あなたには、かかりつけ歯科医がありますか。(○は1つ)

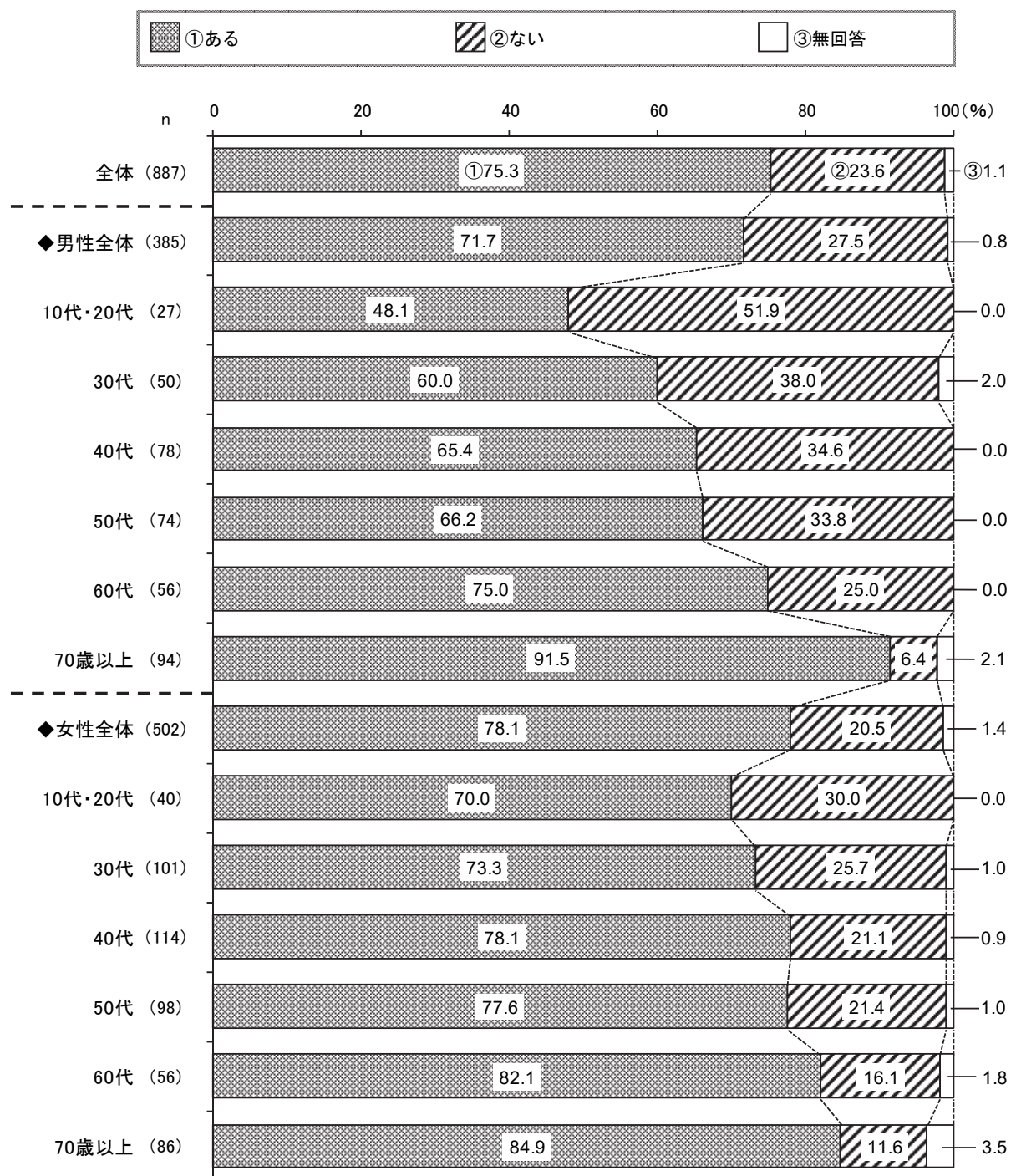
	(n=887)
1 ある	75.3%
2 ない	23.6
無回答	1.1

図2-14-1 かかりつけ歯科医の有無
(経年推移)

かかりつけ歯科医の有無について、「ある」(75.3%)が7割台半ば、「ない」(23.6%)が2割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、割合に大きな変化はみられない。(図2-14-1)

図2-14-2 かかりつけ歯科医の有無
（性別・性／年代別）



性別でみると、「ある」は女性（78.1%）が8割近くと、男性（71.7%）を6.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「ない」は男性の10代・20代（51.9%）が5割強で最も高くなっており、全体（23.6%）を28.3ポイント上回っている。（図2-14-2）

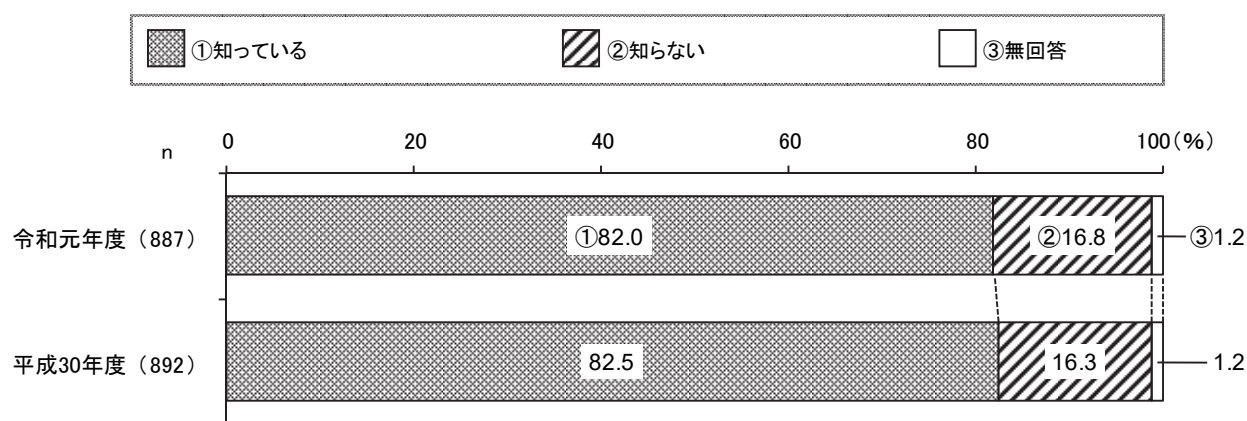
(15) 5つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること

◎「知っている」が8割強

問16 あなたは、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの生活習慣に気をつけて生活するとがんになるリスクが大幅に低下することを知っていますか。
(○は1つ)

	(n=887)
1 知っている	82.0%
2 知らない	16.8
無回答	1.2

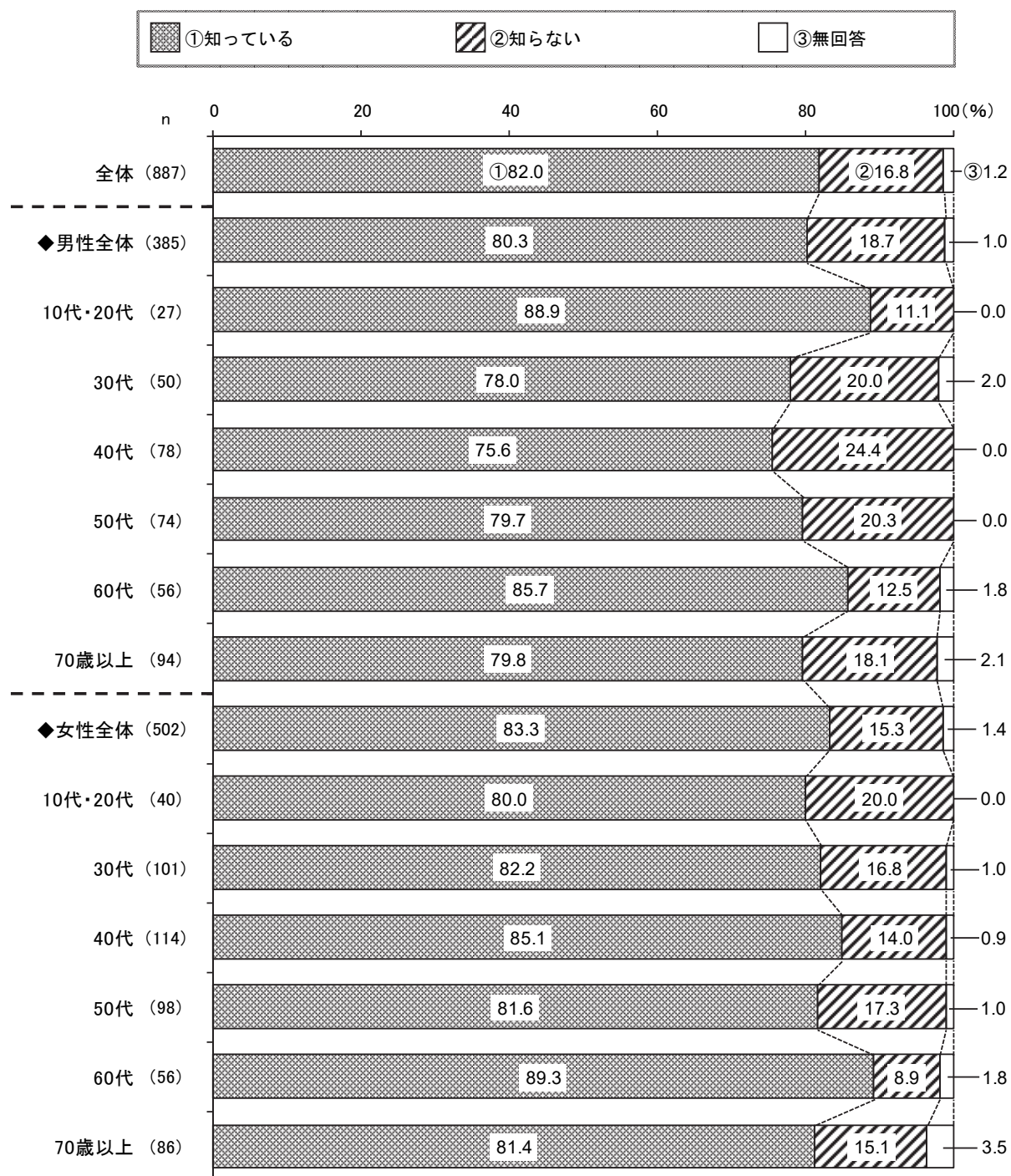
図2-15-1 5つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること
(経年推移)



5つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下することについて、「知っている」(82.0%)が8割強となっている。

前回の調査結果(平成30年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、割合に大きな変化はみられない。(図2-15-1)

図2-15-2 5つの生活習慣に気をつけるとがんになるリスクが大幅に低下すること
（性別・性／年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（83.3%）が8割台半ば近くと、男性（80.3%）を3.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知らない」は、男性の40代（24.4%）が2割台半ば近くと高くなっており、全体（16.8%）を7.6ポイント上回っている。（図2-15-2）

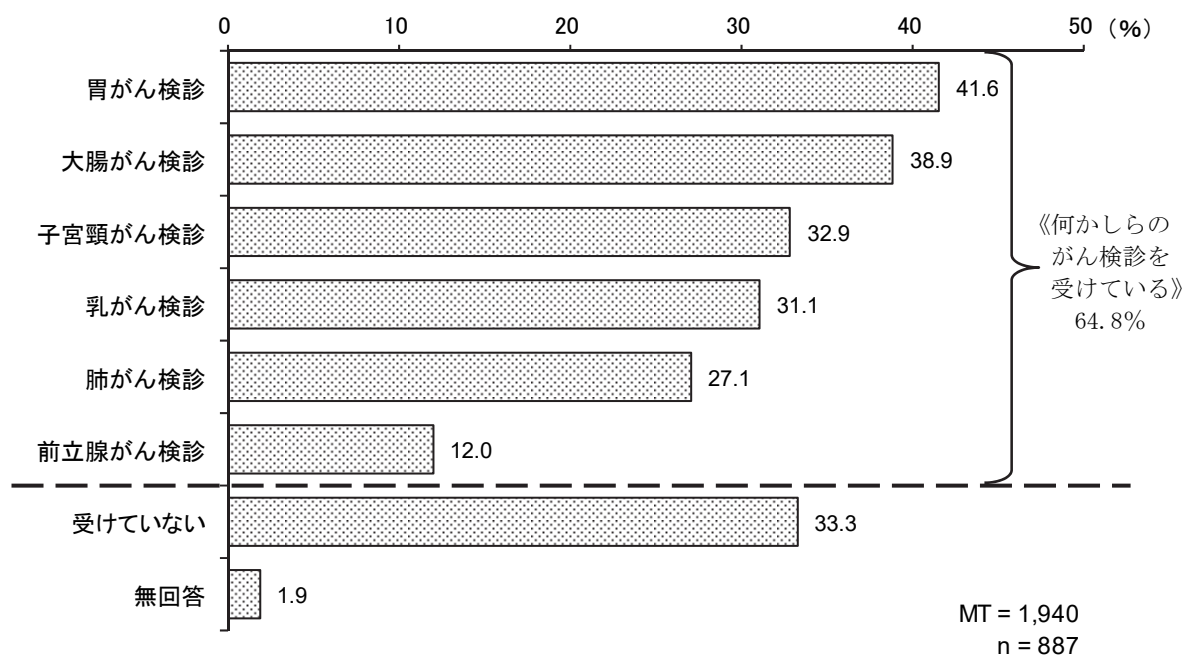
(16) がん検診の受診状況

◎ 《何かしらのがん検診を受けている》は6割台半ば近く

問17 あなたは、次のがん検診を受けていますか。受けている検診すべてに○をつけてください。(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

	(n=887)
1 胃がん検診	41.6%
2 大腸がん検診	38.9
3 肺がん検診	27.1
4 子宮頸がん検診 ※女性のみ	32.9
5 乳がん検診 ※女性のみ	31.1
6 前立腺がん検診 ※男性のみ	12.0
7 受けていない	33.3
無回答	1.9

図2-16 がん検診の受診状況



がん検診の受診状況について、「胃がん検診」(41.6%)が4割強で最も高く、次いで「大腸がん検診」(38.9%)が4割近く、「子宮頸がん検診」(32.9%)および「乳がん検診」(31.1%)がともに3割強と続いている。

全体から「受けていない」(33.3%)と「無回答」(1.9%)を除いた《何かしらのがん検診を受けている》(64.8%)は6割台半ば近くとなっている。(図2-16)

（17）区が実施するがん検診の受診状況

◎「大腸がん検診」が2割台半ばを超え

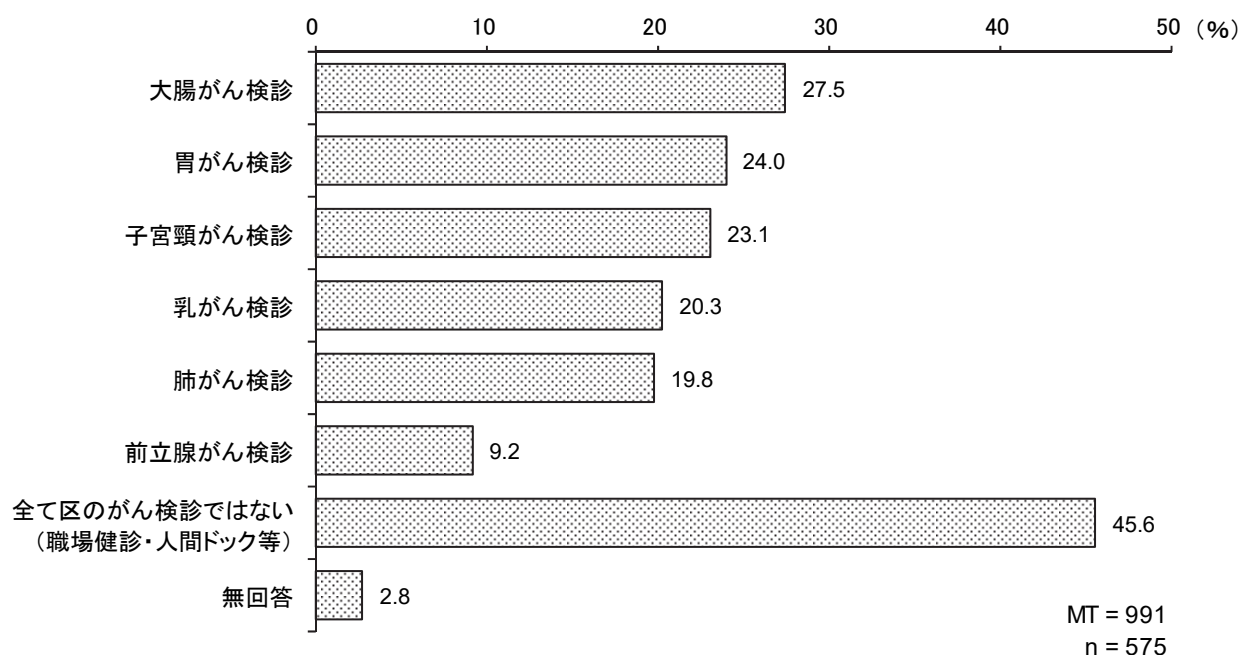
問17-1 問17で、「1」～「6」に○をした方にお伺いします。

問17のうち、新宿区のがん検診を受診されたのは、次のうちどの検診ですか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=575)
1 胃がん検診	24.0%
2 大腸がん検診	27.5
3 肺がん検診	19.8
4 子宮頸がん検診 ※女性のみ	23.1
5 乳がん検診 ※女性のみ	20.3
6 前立腺がん検診 ※男性のみ	9.2
7 全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）	45.6
無回答	2.8

図2-17 区が実施するがん検診の受診状況



問17で《何かしらのがん検診を受けている》とする回答者における、区が実施するがん検診の受診状況について、「大腸がん検診」（27.5%）が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「胃がん検診」（24.0%）及び「子宮頸がん検診」（23.1%）がともに2割台半ば近くと続いている。

一方、「全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）」（45.6%）が4割台半ばとなっている。（図2-17）

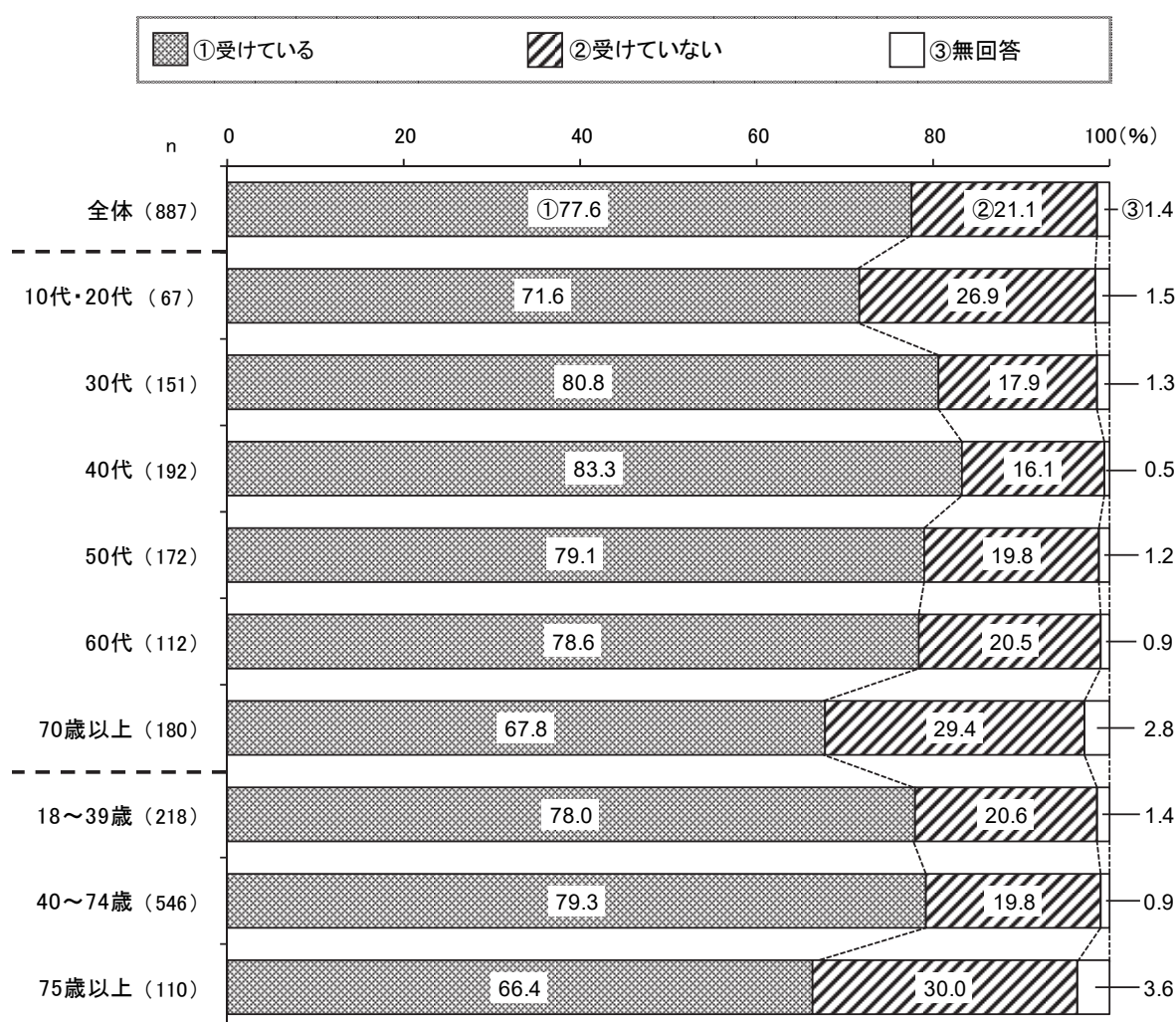
(18) 健康診査の受診状況

◎「受けている」が7割台半ばを超え

問18 あなたは、毎年、一般の健康診査を受けていますか。(○は1つ)

(n=887)

1 受けている	77.6%
2 受けていない	21.1
無回答	1.4

図2-18 健康診査の受診状況
(年代別、年齢(3区分)別)

健康診査の受診状況について、「受けている」(77.6%)が7割台半ばを超え、「受けていない」(21.1%)が2割強となっている。

年代別でみると、「受けていない」は70歳以上(29.4%)が3割弱と、全体(21.1%)を8.3ポイント上回っている。

年齢(3区分)別でみると、「受けている」は40～74歳(79.3%)が8割弱、18～39歳(78.0%)が8割近くと高くなっている。一方、「受けていない」は75歳以上(30.0%)が3割と、全体(21.1%)を8.9ポイント上回っている。(図2-18)

（19）健康診査を受けていない理由

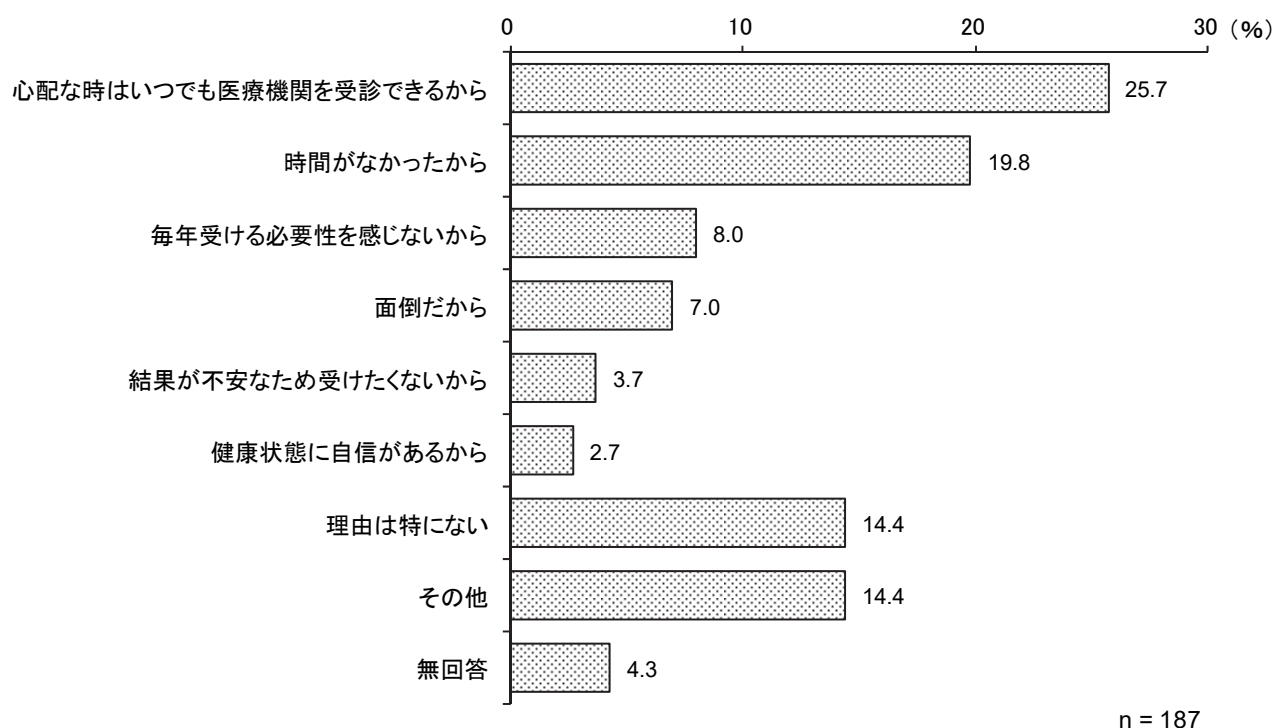
◎「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が2割台半ば

問18-1 問18で、「2」に○をした方にお伺いします。

受けていない理由でもっともあてはまるものは何ですか。（○は1つ）

	(n=187)
1 時間がなかったから	19.8%
2 毎年受ける必要性を感じないから	8.0
3 健康状態に自信があるから	2.7
4 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	25.7
5 結果が不安なため受けたくないから	3.7
6 面倒だから	7.0
7 理由は特にない	14.4
8 その他	14.4
無回答	4.3

図2-19 健康診査を受けていない理由



健康診査を受けていない理由としては、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」(25.7%) が2割台半ばで最も高く、次いで「時間がなかったから」(19.8%) が2割弱となっている。(図2-19)

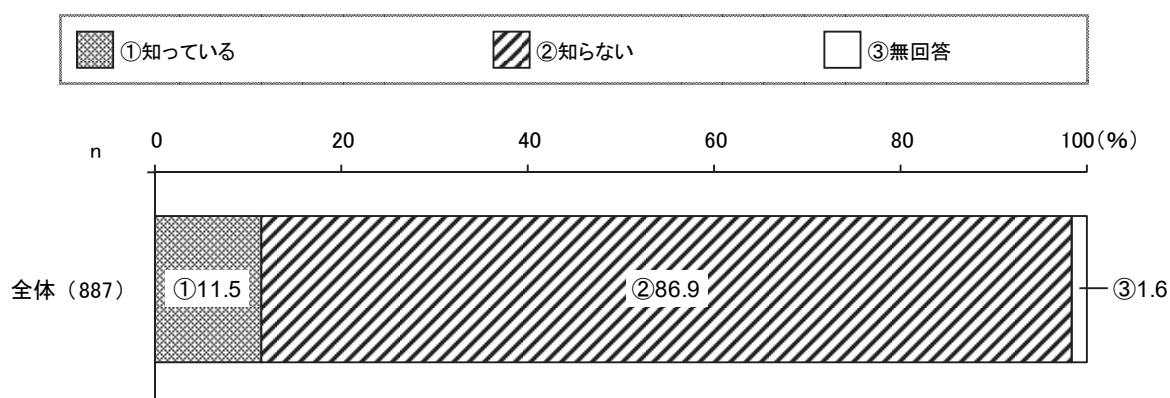
テーマ3 苦情処理機関「区民の声委員会」について

(1) 「新宿区区民の声委員会」の認知度

◎「知らない」が8割台半ばを超え

問19 あなたは、苦情の申し立てをできる、相談できる制度として「新宿区区民の声委員会」が、区にあることを知っていますか。(○は1つ)		(n=887)
1 知っている		11.5%
2 知らない		86.9
無回答		1.6

図3-1 「新宿区区民の声委員会」の認知度



「新宿区区民の声委員会」の認知度について、「知らない」(86.9%)が8割台半ばを超えている。(図3-1)

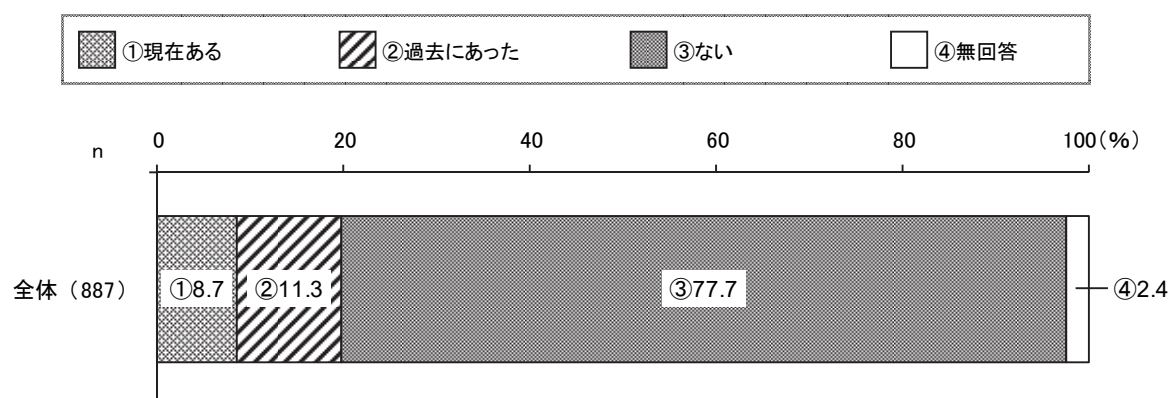
（２）「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無

◎新宿区区民の声委員会に相談したい案件は「ない」が7割台半ばを超え

問20 あなたは、苦情処理機関「新宿区区民の声委員会」を利用したいと思うことがありますか。（○は1つ）

	(n=887)
1 現在ある	8.7%
2 過去にあった	11.3
3 ない	77.7
無回答	2.4

図3-2 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無



「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無について、「ない」（77.7%）が7割台半ばを超えている。一方、「過去にあった」（11.3%）が1割強、「現在ある」（8.7%）が1割未満となっている。（図3-2）

Ⅲ 資料（調査票）

令和元年度 新宿区区政モニターアンケート 第3回

- テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて
テーマ2 健康づくりについて
テーマ3 苦情処理機関「区民の声委員会」について

テーマ1に関する資料を同封しています。ご回答の前に一読ください。

アンケートご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あてはまる番号に○印をつけてください**。設問によって、**1つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合**などがあります。問いの最後に“（○は1つ）”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。
2. **前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります。**
（例：問1で、「1」に○をした方におたずねします、など）
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。
3. 「その他」を選んだ場合には、（ ）内に具体的な回答をご記入ください。

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

整理票を取り外さず、

令和元年11月22日（金）までにご返送ください。

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先 新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係
電話 03-5273-4065（直通）
FAX 03-5272-5500
E-Mail kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp



ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



テーマ1 生涯を通じた女性の健康づくりについて

区は、女性が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすために、女性の健康づくりの拠点として、四谷保健センター（四谷三栄町10番16号）内に「女性の健康支援センター」を設置し、女性の健康に関する知識と理解を深め、健康づくりに取り組めるよう支援しています。

※女性の健康支援センターについては、同封のリーフレットをご覧ください。

質問内容は女性の健康づくりに関してですが、男性、女性ともにご回答ください。

問1 あなたは、四谷保健センター内にある「女性の健康支援センター」を知っていますか。

（〇は1つ）

1 知っている

2 知らない

問2 あなたは、女性の健康づくりサポーター（※1）についてどのように思いますか。

（〇は1つ）

1 関心があり、女性の健康づくりサポーターになってみたい

2 関心はあるが、女性の健康づくりサポーターにはならない

3 特に関心はない

4 すでに、女性の健康づくりサポーターとして登録している

5 その他（

）

※1 女性の健康づくりサポーターには、協力員と推進員がいます。

・協力員とは、講座を通して女性の健康について正しく理解し、個人ができる範囲で活動します。

（活動例）ご自身の健康管理、講座で得た知識を家族や知人に伝える等

・推進員とは、協力員の活動に加えて、サポーター同士が女性の健康づくりに関する取組に関して検討し、実践します。

（活動例）子宮頸がん・乳がん検診の受診勧奨、区の事業への協力等

問3 区では、ピンクリボン月間にあわせ、乳がん検診の受診勧奨や乳がんの正しい知識の普及啓発など下記の取組みを行っています。

あなたが知っている取組みすべてに○をつけてください。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 図書館のレシートの裏面印刷2 図書館における乳がんを含む女性の健康に関する図書展示3 清掃車に貼っているステッカー4 区有施設的女子トイレの乳がんに関する情報が印刷されたステッカー
(男子トイレには設置していません)5 新宿駅東口の街路灯のフラッグ6 ふれあいフェスタ2019でのブース出展7 乳がん体験者の手記「るびなすはびねす」8 乳がん検診の受診勧奨に関するチラシ9 健康セミナー「乳がんの正しい情報」のポスター・チラシ10 新宿アルタビジョン・ユニカビジョンでの乳がんに関する情報の放映11 どれも知らない |
|---|

テーマ2 健康づくりについて

新宿区では、「新宿区健康づくり行動計画」を策定し、暮らしのなかで意識せずとも健康づくりを実践でき、こころも身体も健康に暮らし続けられるまちをめざし、様々な取組を進めています。今回、健康づくりへの意識をおたずねし、計画の進捗評価や今後の取組の参考にしたいと考えています。

問4 あなたは、1日に必要な野菜の摂取量※を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

※1日に必要な野菜の摂取量

1日に必要な野菜の摂取量は、350gです。(直径10cmの小皿(小鉢)に5皿分)

問5 野菜料理を平均で1日何皿くらい食べていますか。(〇は1つ)

(1皿の量は、約70g。直径10cmの小皿(小鉢)にきれいに入る程度です)

- | | |
|--------|--------|
| 1 食べない | 4 3皿 |
| 2 1皿 | 5 4皿 |
| 3 2皿 | 6 5皿以上 |

問6 あなたは、主食※¹、主菜※²、副菜※³の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは週に何日くらいですか。(〇は1つ)

※1 ごはん、パン、麺類など

※2 魚、肉、卵、大豆・大豆製品などのおかず

※3 野菜、海藻、きのこなどのおかず

- | | |
|----------|----------|
| 1 週に6～7日 | 3 週に2～3日 |
| 2 週に4～5日 | 4 ほとんどない |

問7 あなたは、一日合計30分以上の運動(軽く汗をかく程度以上の運動)を1週間でどれくらいしていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|--------|-------------|
| 1 週2日以上 | →問7-1へ | 3 ほとんどしていない |
| 2 週2日未満 | | |

問7-1 問7で、「1」に〇をした方にお伺いします。

その運動をどれくらいの期間継続していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年以上 | 3 1か月以上6か月未満 |
| 2 6か月以上1年未満 | 4 1か月未満 |

問 8 日常生活で体を動かす※ことについておたずねします。

あなたは毎日どれくらい体を動かしていますか。(○は1つ)

※ここでの「体を動かす」とは、普通の歩行や犬の散歩、掃除、自転車に乗る、速歩などを言います。

※「身体活動基準2013」(厚生労働省)では、健康維持・増進のためには、日常生活で毎日体を動かすような生活することが推奨されています。18～64歳の方は毎日60分、65歳以上の方は毎日40分は体を動かすことが、生活習慣病予防や体力維持に効果があると言われています。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 60分以上 | 4 ほとんど動くことはない |
| 2 40分以上60分未満 | 5 わからない |
| 3 20分以上40分未満 | |

問 9 あなたは、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)※という言葉やその意味を知っていましたか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1 言葉も意味も知っている |
| 2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない |
| 3 言葉も意味も知らない(今回初めて聞いた場合を含む) |

※ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは

関節の痛みや筋力の低下などにより、歩く力が衰えた状態のことで、略して「ロコモ」と呼ばれています。進行すると日常生活にも支障が生じるため、いつまでも自分の足で歩き元気であるためには、運動器を長持ちさせ、ロコモを予防することが必要です。

問 10 あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 良い | 4 あまり良くない |
| 2 まあ良い | 5 良くない |
| 3 どちらともいえない | |

問 11 あなたは週に何日くらいお酒(清酒、焼酎、洋酒など)を飲みますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1 毎日 | 5 月に1～3日 | → 問11-1へ |
| 2 週に5～6日 | 6 ほとんど飲まない | |
| 3 週に3～4日 | 7 やめた | |
| 4 週に1～2日 | 8 飲まない(飲めない) | |

問 11-1 問 11で、「1」～「6」に○をした方にお伺いします。

お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。(○は1つ)

※清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。

ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、チューハイ7度(350ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 1合(180ml) 未満 | 4 3合以上4合(720ml) 未満 |
| 2 1合以上2合(360ml) 未満 | 5 4合以上5合(900ml) 未満 |
| 3 2合以上3合(540ml) 未満 | 6 5合(900ml) 以上 |

問 1 2 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1 毎日吸っている |
| 2 時々吸う日がある |
| 3 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない |
| 4 吸わない |

問 1 3 この1か月、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分にとれている | 3 あまりとれていない |
| 2 まあまあとれている | 4 まったくとれていない |

問 1 4 あなたは、こころの問題（ストレスや病気など）について気軽に相談できる場所・窓口※を知っていますか。(○は1つ)

※例えば、保健センター、保健所、精神神経科の専門医、かかりつけ医、こころの電話相談などがあります。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 1 5 あなたには、かかりつけ歯科医※がありますか。(○は1つ)

※かかりつけ歯科医とは、身近な診療所などで日常的に医療を受けたり、お口の健康に関する相談ができる歯科医師のことです。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 1 6 あなたは、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの生活習慣に気をつけて生活するとがんになるリスクが大幅に低下すること※を知っていますか。
(○は1つ)

※国立がん研究センターの調査による

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 17 あなたは、次のがん検診を受けていますか。受けている検診すべてに○をつけてください。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 胃がん検診 | → 問 17-1 へ |
| 2 大腸がん検診 | |
| 3 肺がん検診 | |
| 4 子宮頸がん検診 ※女性のみ | |
| 5 乳がん検診 ※女性のみ | |
| 6 前立腺がん検診 ※男性のみ | |
| 7 受けていない | |

問 17-1 問 17 で、「1」～「6」に○をした方にお伺いします。

問 17 のうち、新宿区のがん検診を受診されたのは、次のうちのどの検診ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- | |
|-----------------------------|
| 1 胃がん検診 |
| 2 大腸がん検診 |
| 3 肺がん検診 |
| 4 子宮頸がん検診 ※女性のみ |
| 5 乳がん検診 ※女性のみ |
| 6 前立腺がん検診 ※男性のみ |
| 7 全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等） |

問 18 あなたは、毎年、一般の健康診査を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 受けている | 2 受けていない → 問 18-1 へ |
|---------|---------------------|

問 18-1 問 18 で、「2」に○をした方にお伺いします。

受けていない理由でもっともあてはまるものは何ですか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1 時間がなかったから |
| 2 毎年受ける必要性を感じないから |
| 3 健康状態に自信があるから |
| 4 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから |
| 5 結果が不安なため受けたくないから |
| 6 面倒だから |
| 7 理由は特にない |
| 8 その他 () |

テーマ3 苦情処理機関「区民の声委員会」について

区は、区政に関する苦情を公正・中立な立場で処理する第三者的な機関である区民の声委員会を設置しています。区民の声委員会とは、区民の方などから寄せられた区政に関する苦情を3人の委員が第三者的な立場から公正・中立に処理する機関です。例えば「受けられるはずのサービスが受けられなかった」「区には直接言いたくない」等のことについてご相談いただけます。

中立性やプライバシーの保護には特に配慮していますので、安心してご利用ください。

問19 あなたは、苦情の申し立てをできる、相談できる制度として「新宿区区民の声委員会」が、区にあることを知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている

2 知らない

問20 あなたは、苦情処理機関「新宿区区民の声委員会」を利用したいと思うことがありますか。(〇は1つ)

1 現在ある

2 過去にあった

3 ない

—— 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ——

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、次ページ以降の回答者の属性もご記入ください。

※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはございません。

回答者の属性

問ア あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-----------|
| 1 四谷 | 6 戸塚 |
| 2 簗笥町 | 7 落合第一 |
| 3 榎町 | 8 落合第二 |
| 4 若松町 | 9 柏木 |
| 5 大久保 | 10 角筈・区役所 |

問イ 性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問ウ あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（〇は1つ）

- | | | | |
|---|--------|----|--------|
| 1 | 18～19歳 | 8 | 50～54歳 |
| 2 | 20～24歳 | 9 | 55～59歳 |
| 3 | 25～29歳 | 10 | 60～64歳 |
| 4 | 30～34歳 | 11 | 65～69歳 |
| 5 | 35～39歳 | 12 | 70～74歳 |
| 6 | 40～44歳 | 13 | 75～79歳 |
| 7 | 45～49歳 | 14 | 80歳以上 |

問エ あなたのご職業を、次の中からお選びください。(○は1つ)

- 1 会社員・団体職員

2 会社役員・団体役員

3 パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など

4 自営業、自由業（開業医、弁護士、司法書士なども含む）

5 学生

→問エー 1 へ

6 専業主婦・主夫

7 無職

8 その他（

問エー 1 問エで、「1」～「5」に○をした方にお伺いします。現在のあなたの職場・学校はどこにありますか。(○は1つ)

1 新宿区内

2 新宿区外

問オ 現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

1 子

2 妻または夫

3 親

4 祖父母

5 孫

6 兄弟姉妹

7 その他 ()

8 ひとり暮らし

1～7の方は、
→ 問オー 1～問オー 2へ

問オー 1 問オで、「1」～「7」に○をした方にお伺いします。同居している人は、あなたを除いて全員で何人ですか。

【 】の中に人数を記入してください。

同居している人は、あなた＋【 】人

問オー 2 問オで、「1 子」に○をした方にお伺いします。同居している子の就学状況は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一番上の子が小学校入学前

3 一番上の子が高・大学生

2 一番上の子が小・中学生

4 一番上の子が学校を卒業

問カ あなたは新宿区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1 1年未満

5 10年以上20年未満

2 1年以上3年未満

6 20年以上30年未満

3 3年以上5年未満

7 30年以上

4 5年以上10年未満

問キ 現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。(○は1つ)

一戸建て	集合住宅
1 持ち家の一戸建て	5 分譲マンション・アパート (自己所有のものを含む)
2 賃貸の一戸建て	6 賃貸マンション・アパート
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	7 賃貸のUR都市機構(旧公団) ・公社のマンション・アパート
4 その他 ()	8 賃貸の都営・区営住宅
	9 社宅・公務員官舎
	10 その他 ()

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

整理票を取り外さず、

11月22日(金)までに、ご返送ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065(直通)

FAX 03-5272-5500

E-mail kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp

令和元年度第3回新宿区区政モニターアンケート

令和2年2月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町1-4-1

電話(03)5273-4065(直通)

印刷物作成番号

2019-25-2106

この印刷物は、業者委託により400部印刷製本しています。その経費として、1部あたり440円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。